

那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画

【中間見直しによる令和4年度～令和7年度の計画】

【凡例】

- この見直し版は、「那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画(平成28年3月)」(本体計画)とともに参照するものとする。
- 掲示されているページは本体計画の当該ページを示し、該当箇所を本書で読み替えることを意味しているものである。
- この見直し版の時点修正は、見直し時点で参照できる直近の統計等に基づいている。ただし、趨勢に影響しない程度の情報には時点修正を割愛している。

令和5年3月

那 覇 市

はじめに

1. 「那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画」について

- (1) 那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画は「県都にふさわしい活力あるまち」を将来像として、「誰もが暮らしたくなるまち」をつくる、「誰もが来たくなるまち」をつくることを基本方針に掲げている。
- (2) 平成 28 年度を初年度とし、令和 7 年度までの 10 年間の計画期間としている。

2. 中間見直しの方針

- (1) 国の認定を受けない計画を踏襲する
- (2) 統計データ及び目標値等については時点修正をする。
- (3) 施策、事業等は、次の点を考慮しながら必要に応じて追加する。
 - SDGs のゴール 11（住み続けられる街づくりを）の視点
 - 中心市街地の問題事案（騒音、路上飲み等）への対応
 - 周辺地域の動き（大型商業施設、沖縄アリーナ、北谷エリアなど）
 - 従来を取り組みを補強する事業（なは一との活用、路上活用の動き）

※中間見直しにあたっては、関係課へ次の事項について事前調査を行った。

- 事業の進捗及び財源等の情報について
- 新規事業や計画の大臣認定化についてのニーズについて
- 施策の柱における新たな課題について

3. 中間時点の評価

(1) 着手率 86%、完了予定率 78%

- 「市街地の整備改善」「商業の活性化」「まちなか居住の推進」「都市福利施設の整備」「交通環境の整備促進」の 5 分野の施策を編成し、83 本の事業を掲示（詳細後掲）。

- 中間時点での着手率 86%、完了予定率 78%。

計画掲載事業		83
着手済	R3年度までに完了	20
	R4年度までに完了予定	4
	計画期間内に完了予定	35
	計画期間内に完了予定(遅れ)	6
	計画期間内に完了困難	7
未着手	実施予定あり	5
	実施予定なし	6
修正・追加事業		2

(2) 街路整備、住宅政策、アーケード再整備補助など、一定の成果

- 農連市場地区防災街区整備事業として農連市場の再整備が行われ、駐車場を完備した「のうれんプラザ」が完成し、新たなまちぐわー空間が生まれた。
- 子育て世代のまちなか居住を促進するため、こども園や子育て支援センターを併設した多子世帯向け市営住宅が建設された。
- 老朽化した第一牧志公設市場の建替えも進められているほか、中心商店街のアーケードの再整備を補助する制度が設けられた。

(3) 課題は都市基盤事業や民間施設に関する施策

- 道路や街路といった都市基盤の整備は、事業に着手はしているが計画期間内に完了する見込みがないとされている。
- 地区の再整備等は、地権者との合意形成が難航しているものなどが未着手となっている。

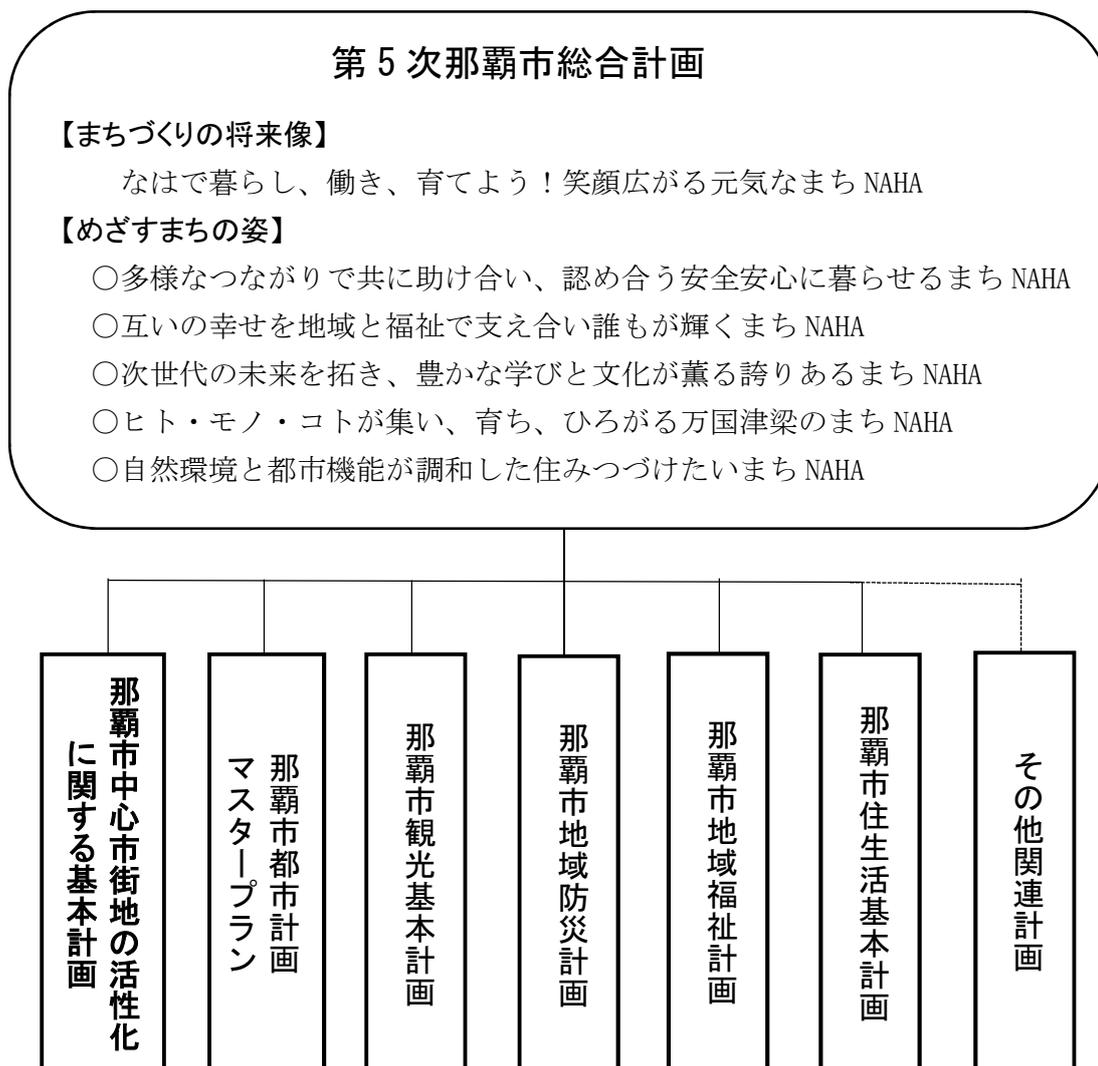
【p.6】

○文章ならびに表を次のようにあらためる

「2 那覇市の他の計画との関係」

本基本計画は、「第5次那覇市総合計画」に掲げるまちづくりの将来像である『なはで暮らし、働き、育てよう！笑顔広がる元気なまち NAHA 』に基づき、めざすまちの姿を実現するための下位計画として位置付ける。

中心市街地の活性化を図るためには、公共施設・インフラ・商業・居住・都市福利・交通など様々な分野の施策との連携が必要になることから、「那覇市都市マスタープラン」や「那覇市地域福祉計画」など他の計画との連携を図っていく。



【p.7】

○計画期間を次のように改める。

「平成 28 年 4 月～令和 8 年 3 月までの 10 年間とする。」

○表中の年度の表記も適宜読み替える。

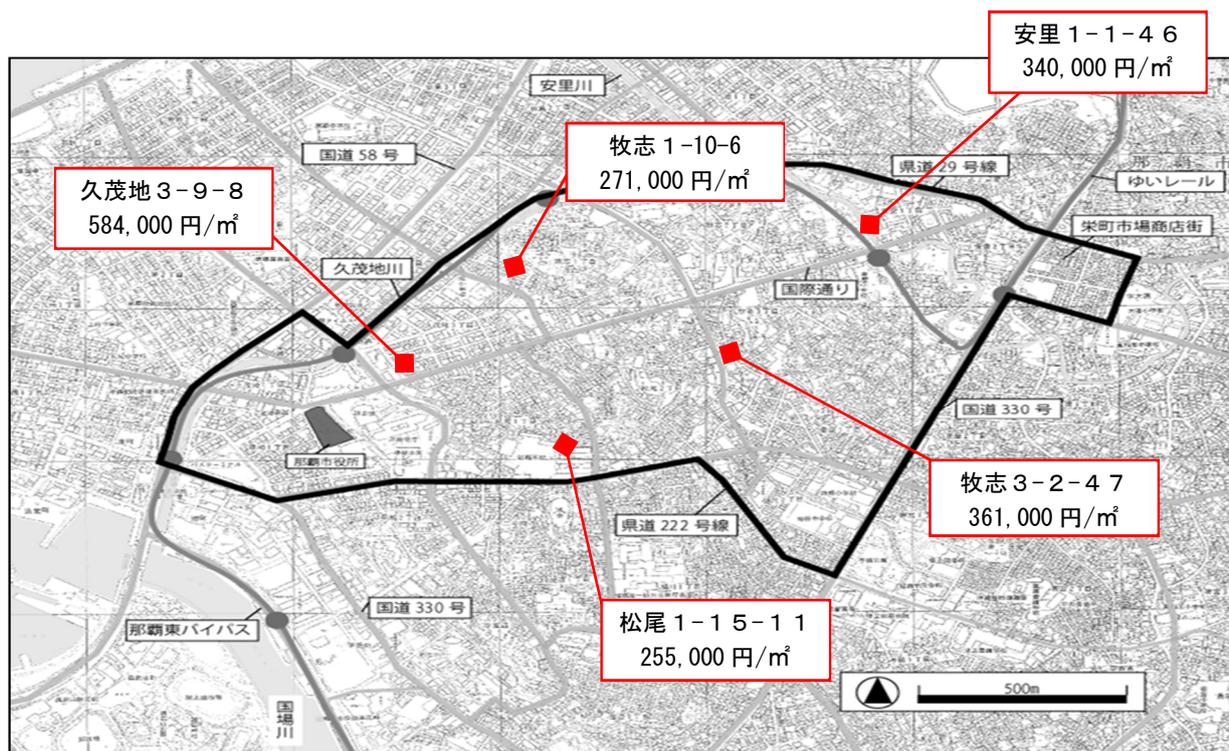
【p.26】

○文章ならびに図、及びグラフを次のようにあらためる。

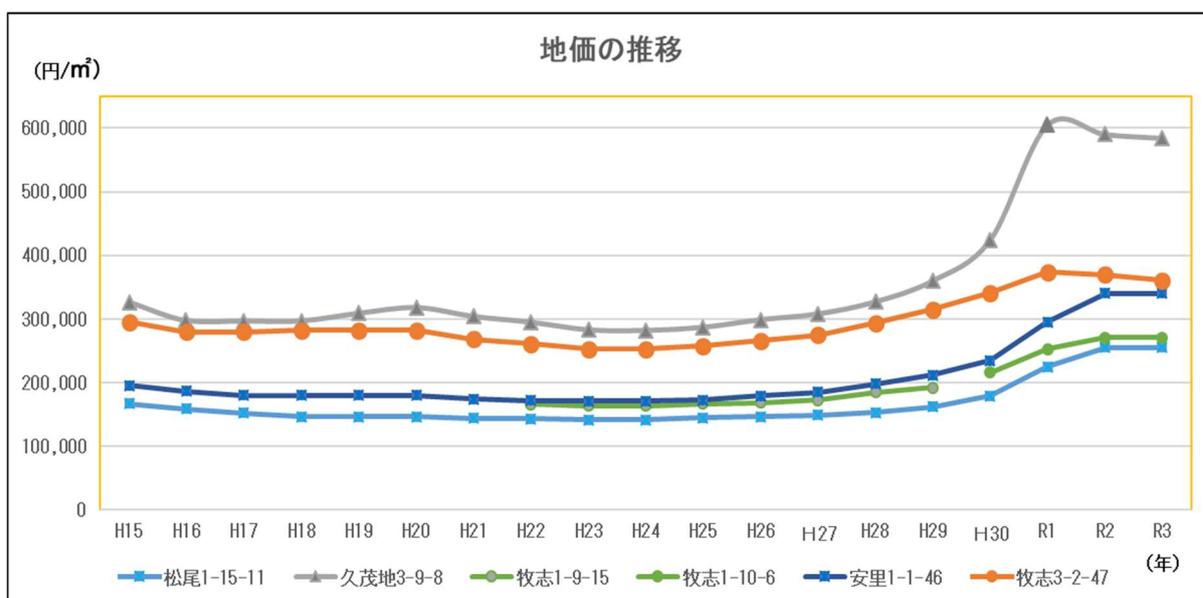
「⑤地価

中心市街地の地価調査基準地の標準価格は、平成15年と平成26年を比較すると、いずれの地点も概ね1割程度の下落となっているが、平成27年～令和3年にかけては上昇傾向にある。特に令和元年において急激に上昇していたが、令和2年から上昇幅は小さくなっている。」

■地価調査基準地の標準価格



資料：令和3年沖縄県地価調査



H30 から標準地変更あり。(牧志 1-9-15⇒牧志 1-10-6 へ)

資料：沖縄県地価調査

地価調査基準地の標準価格

R3: 沖縄県地価調査

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
県1	松尾1-15-11	167,000	159,000	152,000	147,000	147,000	147,000	144,000	143,000	142,000	142,000
5-8	久茂地3-9-8	326,000	298,000	297,000	297,000	309,000	318,000	304,000	295,000	283,000	282,000
6	牧志1-9-15								166,000	164,000	164,000
6	牧志1-10-6										
5-14	安里1-1-46	196,000	187,000	180,000	180,000	180,000	180,000	174,000	172,000	171,000	171,000
5-10	牧志3-2-47	295,000	280,000	280,000	282,000	282,000	282,000	268,000	261,000	253,000	253,000

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
県1	松尾1-15-11	145,000	147,000	149,000	153,000	162,000	179,000	225,000	255,000	255,000
5-8	久茂地3-9-8	287,000	299,000	308,000	327,000	360,000	424,000	605,000	590,000	584,000
6	牧志1-9-15	167,000	169,000	173,000	185,000	192,000				
6	牧志1-10-6					216,000	253,000	271,000	271,000	
5-14	安里1-1-46	173,000	179,000	185,000	198,000	212,000	235,000	295,000	340,000	340,000
5-10	牧志3-2-47	258,000	266,000	275,000	294,000	315,000	341,000	374,000	370,000	361,000

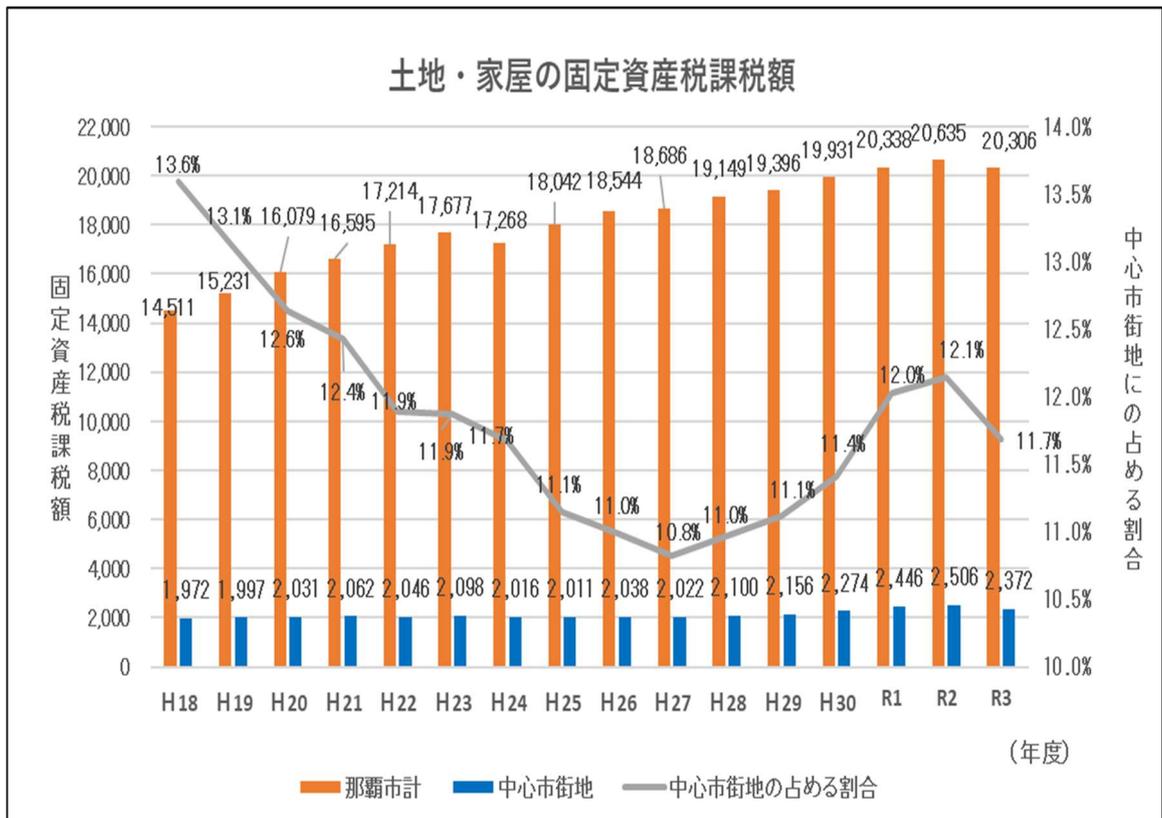
基準値番号	基準値の所在及び地番並びに住居表示	1㎡価格	地籍㎡	形状	基準値の利用現状	
県-1	松尾1丁目245番9 松尾1-15-11	255,000	115	1:1	住宅RC3	一般住宅、共同住宅、併用住宅等がみられる住宅地域
県-5-8	久茂地3丁目9番14 久茂地3-9-8	584,000	99	1:2	店舗兼事務所RC5	中低層の飲食店及び持ち家が建ち並ぶ商業地域
県-6	牧志1丁目942番12 牧志1-10-6	271,000	109	1:1.5	住宅RC3	一般住宅、共同住宅、店舗兼共同住宅等が混在する住宅地域
県-5-10	牧志3丁目811番2 外 牧志 3-2-47	361,000	115	1.2:1	店舗兼事務所RC3	小規模な各種小売店舗、飲食店等が建ち並ぶ平和通り沿いの商業地域
県-5-14	安里1丁目468番37 外 安里 1-1-46	340,000	494	1:2	店舗兼共同住宅RC10	各種小売店舗のほか事務しいお等が介在する普通商業地域

【p.27】

○文章とグラフを次のようにあらためる。

「⑥固定資産税課税額

中心市街地の固定資産税課税額は、平成 18 年度(1,972 百万円)から平成 26 年度(2,038 百万円)にかけ 3.3%の増加であったが、平成 26 年度以降、平成 26 年度(2,038 百万円)から令和 3 年度(2,372 百万円)にかけては、約 16%と大幅に増加している。一方、本市全体の固定資産税課税額は、平成 18 年度(14,511 百万円)から平成 26 年度(18,544 百万円)にかけ 27.8%増加していたが、平成 26 年度(18,544 百万円)から令和 3 年度(20,306 百万円)にかけ 9.5%増加に留まっており、中心市街地の増加率が高くなっているため、本市全体に占める中心市街地の固定資産税課税額の割合は、平成 26 年度の 11.0%から令和 3 年度は、11.7%へと高くなっている。」



資料: 那覇市企画財務部資産税課

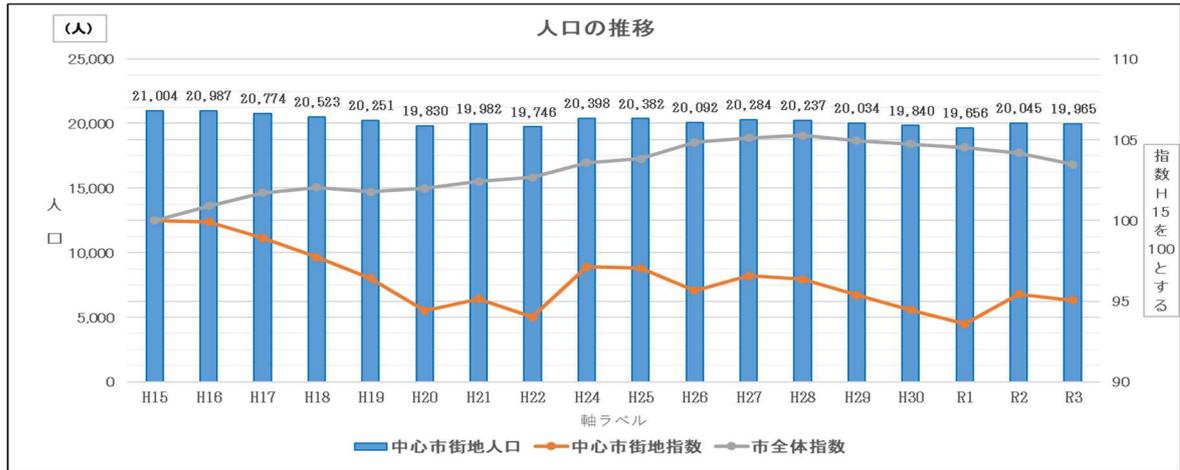
【p.28】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「①人口

中心市街地の人口は、平成 15 年には 21,004 人であったが、平成 26 年は 20,092 人となっており、4.3%減少している。さらに令和 3 年においては、19,965 人、4.9%の減少となっており、人口約 2 万人前後で推移している。

本市全体の人口は増加傾向にあり、平成 15 年から平成 26 年にかけて 4.8%の増加となっており、以降、平成 28 年まで増加し続けていたが、平成 29 以降やや鈍化している。」



資料：住民基本台帳（各年 9 月末）

※令和 2 年における人口増加の主な要因は、令和 2 年 4 月に樋川市営住宅入居開始によるものと思われる。

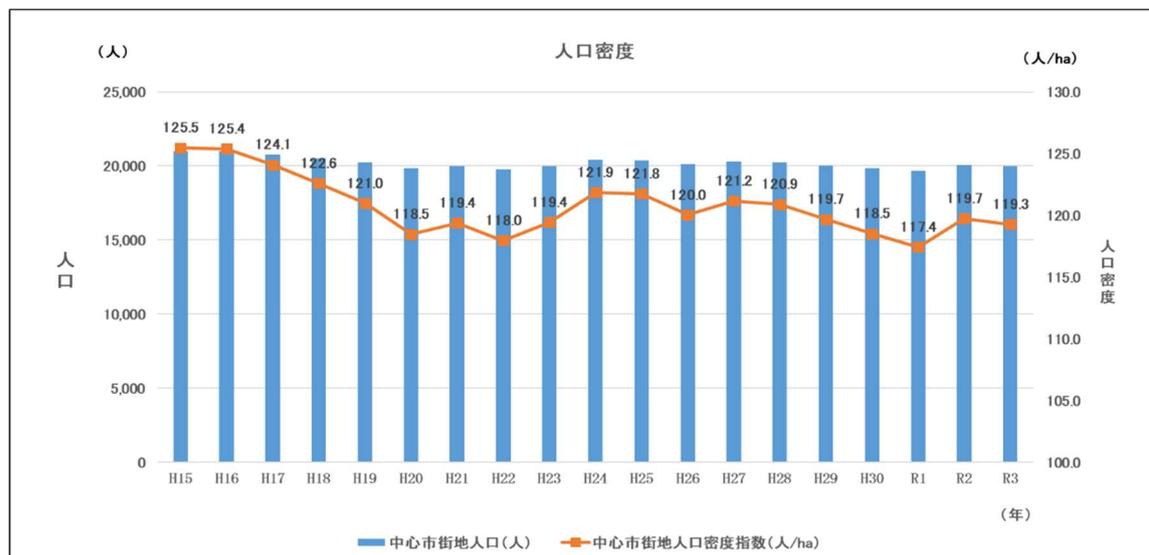
中心市街地の人口の推移

中心市街地の人口推移	各年9月																	R3-R2		
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
安里 1 丁目	562	568	564	580	577	574	571	493	495	508	504	541	518	537	534	568	563	548	557	9
安里 2 丁目	922	948	929	889	890	810	837	828	864	880	942	957	959	925	875	897	880	880	937	57
宇安里	3,996	3,816	3,792	3,812	3,768	3,770	3,747	3,749	3,760	3,741	3,763	3,732	3,751	3,685	3,667	3,705	3,691	3,640	3,714	74
泉崎 1 丁目	1,269	1,262	1,237	1,217	1,224	1,271	1,276	1,276	1,310	1,817	1,820	1,282	1,257	1,278	1,245	1,251	1,272	1,274	1,256	-16
久茂地 1 丁目	107	103	107	111	100	97	100	102	108	109	104	98	95	94	103	92	89	78	80	2
久茂地 3 丁目	676	650	631	607	615	592	590	597	619	611	632	639	627	641	616	581	566	544	546	2
森屋 1 丁目	2,456	2,449	2,452	2,412	2,377	2,311	2,330	2,286	2,251	2,173	2,129	2,174	2,131	2,153	2,156	2,126	2,136	2,078	2,033	-45
樋川 2 丁目	1,262	1,276	1,239	1,212	1,176	1,159	1,161	1,142	1,091	1,023	1,028	999	948	760	728	662	645	1,223	1,287	64
牧志 1 丁目	1,518	1,542	1,509	1,468	1,436	1,392	1,389	1,374	1,394	1,422	1,377	1,362	1,434	1,426	1,405	1,412	1,387	1,371	1,318	-53
牧志 2 丁目	1,812	1,869	1,886	1,849	1,845	1,816	1,855	1,855	1,874	1,939	1,947	1,987	2,054	2,086	2,101	2,090	2,041	2,146	2,129	-17
牧志 3 丁目	2,009	1,997	1,998	1,983	1,870	1,758	1,780	1,805	2,059	2,081	2,087	2,086	2,167	2,143	2,106	2,086	2,063	2,023	1,986	-37
松尾 1 丁目	1,607	1,627	1,621	1,574	1,584	1,574	1,553	1,469	1,512	1,494	1,477	1,516	1,612	1,776	1,799	1,753	1,696	1,691	1,622	-69
松尾 2 丁目	2,821	2,882	2,809	2,809	2,790	2,706	2,803	2,772	2,667	2,600	2,582	2,719	2,731	2,733	2,699	2,617	2,627	2,549	2,500	-49
計	21,004	20,987	20,774	20,523	20,251	19,830	19,982	19,746	19,994	20,398	20,382	20,092	20,284	20,237	20,034	19,840	19,656	20,045	19,965	-80
全体	307,816	310,568	313,049	314,096	314,339	313,932	315,241	316,004	317,625	318,860	319,572	322,717	323,558	323,993	323,064	322,393	321,729	320,657	318,510	-2,147

令和 2 年と令和 3 年比較で、中心市街地において人口が減少している中で、樋川 2 丁目、安里地域においては増加している。

「②人口密度

中心市街地の人口密度は、平成 15 年には 125.5 人/ha であったが、平成 26 年は 120.0 人/ha となっており、5.5 人/ha 低下している。さらに令和 3 年には、119.3 人/ha と 6.2 人/ha の低下となっている。しかし、それでも 1 ヘクタールあたり 100 人を超えており、依然として本市の中心市街地は人口密度が高いと言える。」



資料：住民基本台帳 (各年 9 月末)

※人口密度は、各年度の中心市街地人口を中心市街地面積 167.4ha で除し算出。

【p.29】

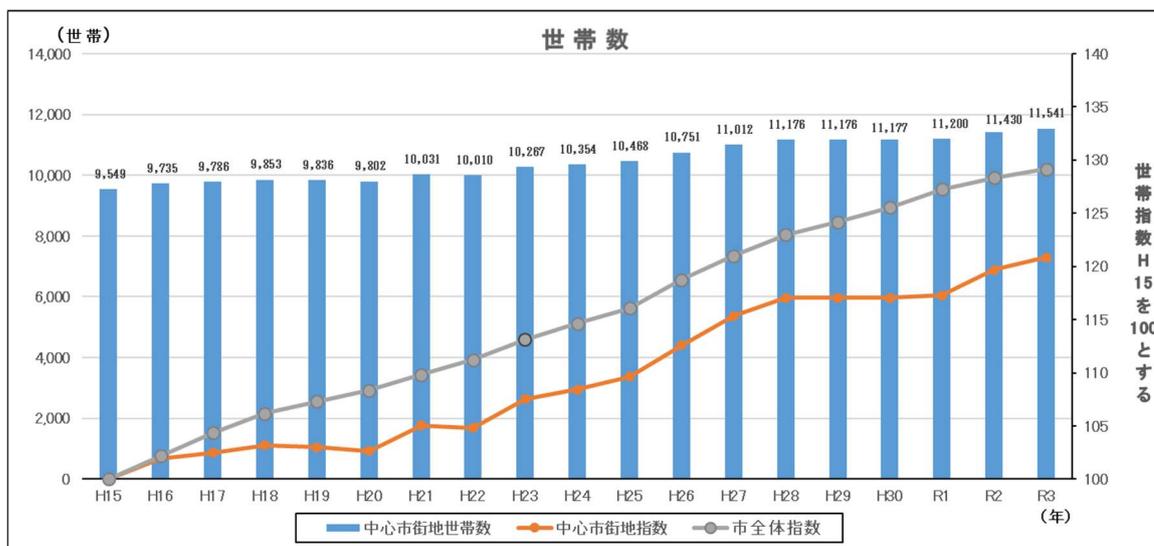
○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「③世帯数

中心市街地の世帯数は、平成 15 年は 9,549 世帯であったが、平成 26 年は 10,751 世帯となっており、12.6%の増加となっている。さらに令和 3 年には 11,541 世帯、20.9%の増となっている。

1 世帯あたりの人数平均は平成 26 年においては、1.87 人(=20,092 人÷10,751 世帯)であったが、令和 3 年では、平均は 1.73 人(=19,965 人÷11,541 世帯)となっており、1 世帯当たりの人口は、0.14 人減少している。

本市全体の世帯数は、平成 15 年から平成 26 年にかけて 18.7%増加となっていたが、令和 3 年にかけては、29.1%の増加となっており、平成 26 年以降も世帯数は増加傾向にある。」



資料:住民基本台帳 (各年9月末)

中心市街地の世帯数推移

中心市街地の世帯推移	各年9月 世帯																	R3→R2		
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
安里1丁目	313	319	324	339	340	340	337	266	282	294	297	317	311	330	334	365	365	361	376	15
安里2丁目	440	461	483	458	456	440	449	450	471	477	499	522	534	522	490	509	499	507	550	43
宇安里	1,824	1,764	178	1,820	1,793	1,835	1,846	1,833	1,867	1,909	1,923	1,930	1,992	1,974	2,007	2,077	2,140	2,148	2,229	81
泉崎1丁目	552	565	588	571	582	606	633	631	656	652	653	681	682	710	693	706	739	747	740	-7
久茂地1丁目	53	52	56	56	50	45	48	52	53	53	53	50	53	53	60	51	49	41	44	3
久茂地3丁目	297	289	287	280	277	272	272	290	308	302	328	342	342	367	347	335	327	332	337	5
菱屋1丁目	1,086	460	1,144	1,151	1,147	1,135	1,178	1,159	1,172	1,141	1,150	1,190	1,195	1,236	1,255	1,234	1,220	1,216	1,220	4
樋川2丁目	530	537	541	536	529	533	544	543	516	487	499	489	471	388	374	349	340	513	542	29
牧志1丁目	683	706	704	692	690	690	698	693	704	728	714	711	761	755	738	741	744	747	730	-17
牧志2丁目	863	902	911	904	908	906	951	963	980	1,020	1,038	1,069	1,111	1,134	1,167	1,167	1,160	1,215	1,213	-2
牧志3丁目	989	1,015	1,023	1,044	1,009	967	980	1,022	1,171	1,195	1,188	1,211	1,253	1,270	1,289	1,255	1,245	1,233	1,226	-7
松尾1丁目	682	699	701	701	715	707	722	703	733	749	755	777	818	923	925	900	875	887	882	-25
松尾2丁目	1,247	1,298	1,276	1,301	1,340	1,326	1,373	1,400	1,352	1,347	1,373	1,468	1,489	1,514	1,527	1,488	1,497	1,483	1,472	-11
計	9,549	9,077	8,176	9,853	9,836	9,802	10,031	10,005	10,267	10,354	10,468	10,751	11,012	11,176	11,176	11,177	11,200	11,430	11,541	111
全体	121,039	123,671	126,308	128,640	129,903	131,167	132,920	134,624	136,908	138,767	140,484	143,730	146,483	148,837	150,304	151,966	154,018	155,332	156,304	972

※世帯数については、市全体、中心市街地ともに増加傾向にある。中心市街地のうち樋川 2 丁目、安里地域全般において増加している。

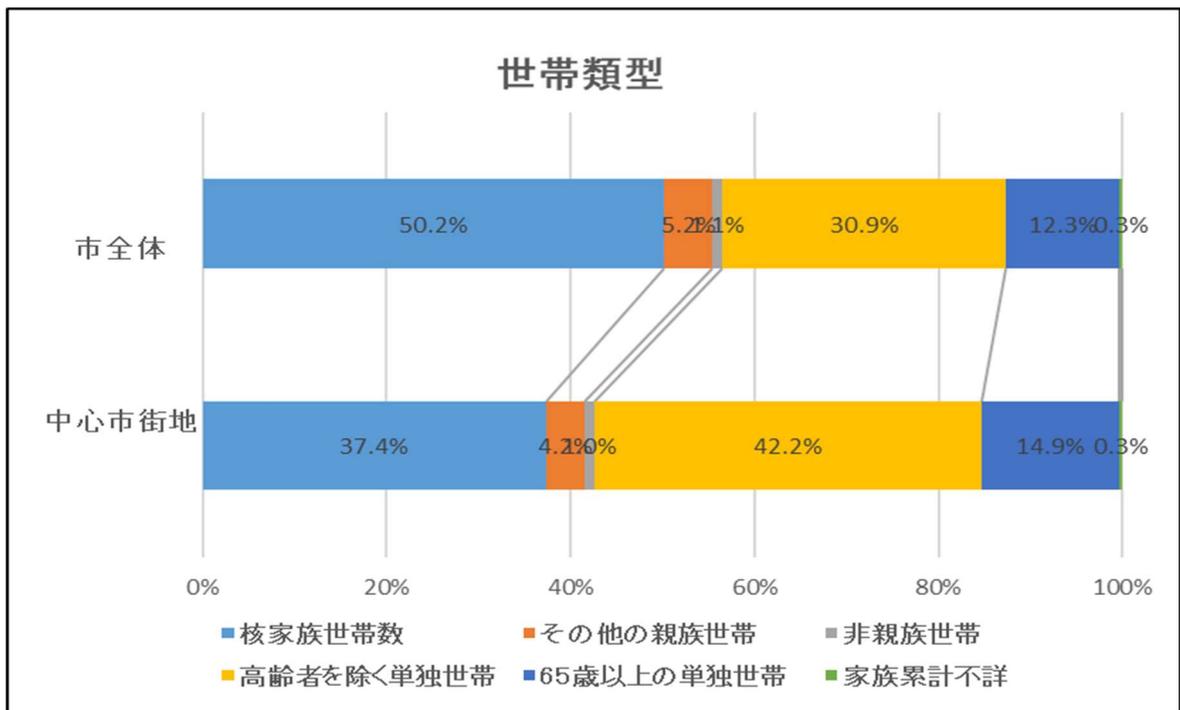
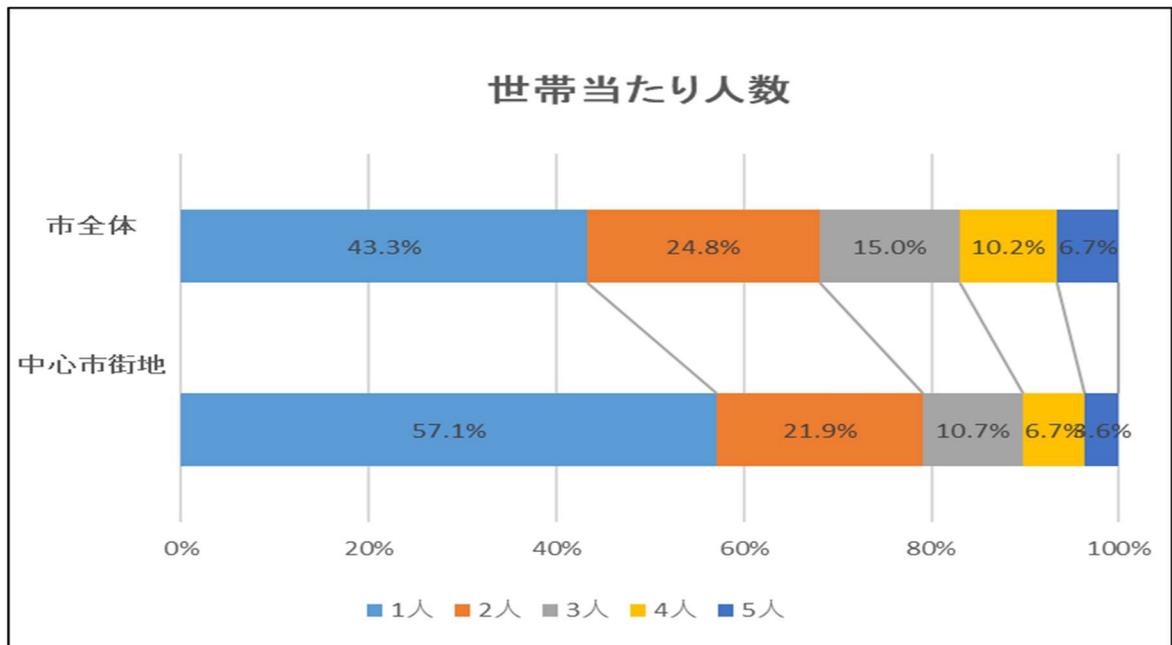
【p30】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「④世帯類型

本市全体の 1 人世帯の割合は 43.4%であるのに対して、中心市街地の 1 人世帯の割合は 57.1 となっており、本市全体と比較して中心市街地における 1 人世帯の割合は依然として高くなっている。

また、本市全体の 65 歳以上単独世帯の割合が 12.3%であるのに対して、中心市街地の割合は 14.9%となっており、本市全体と比較して中心市街地は 65 歳以上の単独世帯の割合が依然として高い。」

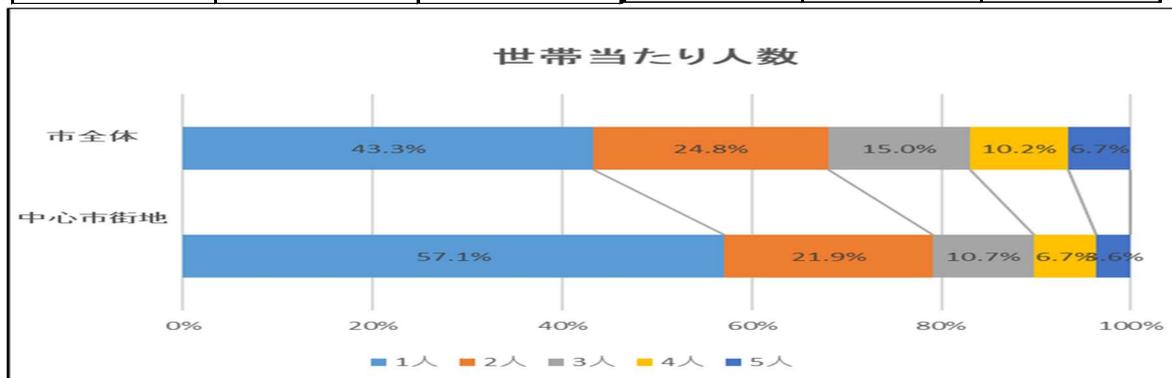


資料:令和2年国勢調査

世帯当たりの人数

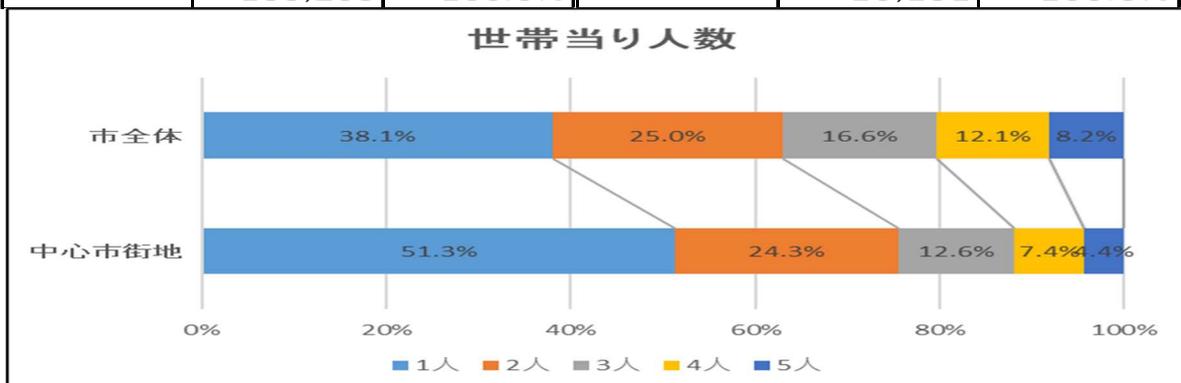
R2 国勢調査

市全体			中心市街地		
世帯構成	世帯数		世帯構成	世帯数	
1人	62,298	43.3%	1人	6,215	57.1%
2人	35,740	24.8%	2人	2,384	21.9%
3人	21,629	15.0%	3人	1,162	10.7%
4人	14,688	10.2%	4人	727	6.7%
5人	9,656	6.7%	5人	397	3.6%
	144,011	100.0%		10,885	100.0%



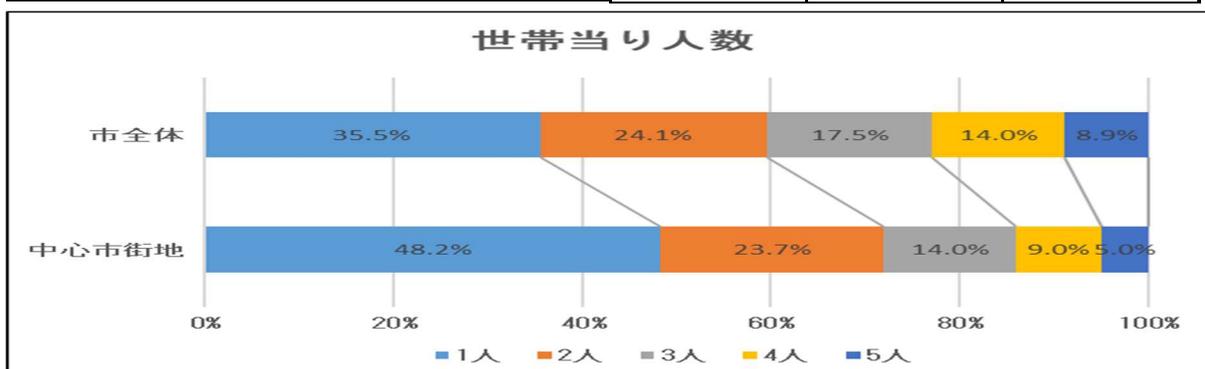
H27 国勢調査

市全体			中心市街地		
世帯構成	世帯数		世帯構成	世帯数	
1人	51,519	38.1%	1人	5,229	51.3%
2人	33,756	25.0%	2人	2,473	24.3%
3人	22,499	16.6%	3人	1,280	12.6%
4人	16,393	12.1%	4人	759	7.4%
5人	11,098	8.2%	5人	450	4.4%
	135,265	100.0%		10,191	100.0%



H22 国勢調査

市全体			中心市街地		
世帯構成	世帯数		世帯構成	世帯数	
1人	45,895	35.5%	1人	4,643	48.2%
2人	31,114	24.1%	2人	2,282	23.7%
3人	22,598	17.5%	3人	1,352	14.0%
4人	18,145	14.0%	4人	868	9.0%
5人	11,469	8.9%	5人	481	5.0%
	129,221	100.0%		9,626	100.0%



世帯類型

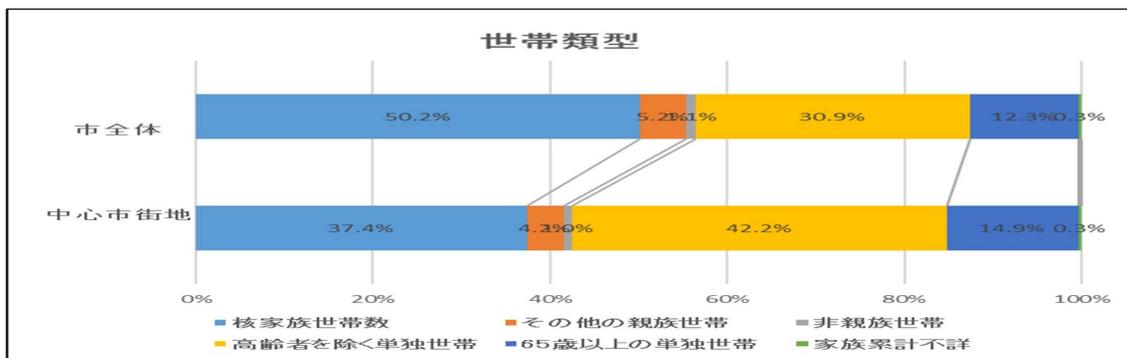
令和2年国勢調査

市全体

世帯類型	世帯総数	割合
核家族世帯数	72,286	50.2%
その他の親族世帯	7,475	5.2%
非親族世帯	1,552	1.1%
高齢者を除く単独世帯	44,519	30.9%
65歳以上の単独世帯	17,779	12.3%
家族累計不詳	400	0.3%

中心市街地

世帯類型	世帯総数	割合
核家族世帯数	4,066	37.4%
その他の親族世帯	459	4.2%
非親族世帯	107	1.0%
高齢者を除く単独世帯	4,595	42.2%
65歳以上の単独世帯	1,620	14.9%
家族累計不詳	38	0.3%



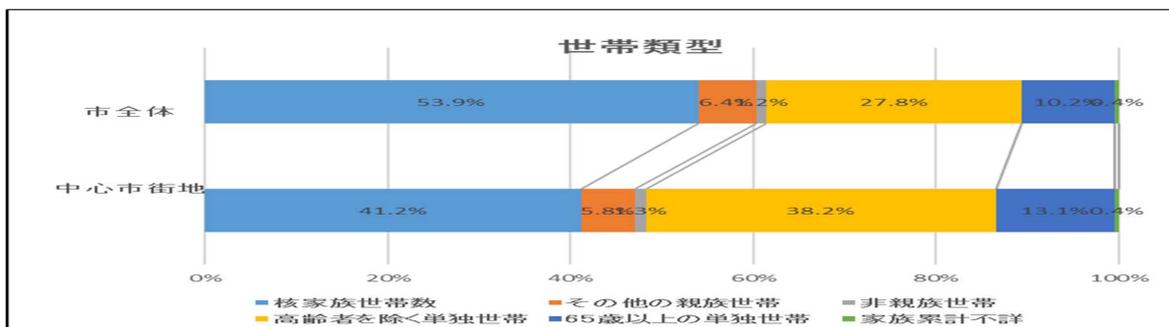
平成27年国勢調査

市全体

世帯類型	世帯総数	割合
核家族世帯数	72,956	53.9%
その他の親族世帯	8,639	6.4%
非親族世帯	1,562	1.2%
高齢者を除く単独世帯	37,655	27.8%
65歳以上の単独世帯	13,864	10.2%
家族累計不詳	589	0.4%

中心市街地

世帯類型	世帯総数	割合
核家族世帯数	4,202	41.2%
その他の親族世帯	585	5.8%
非親族世帯	136	1.3%
高齢者を除く単独世帯	3,895	38.2%
65歳以上の単独世帯	1,334	13.1%
家族累計不詳	39	0.4%



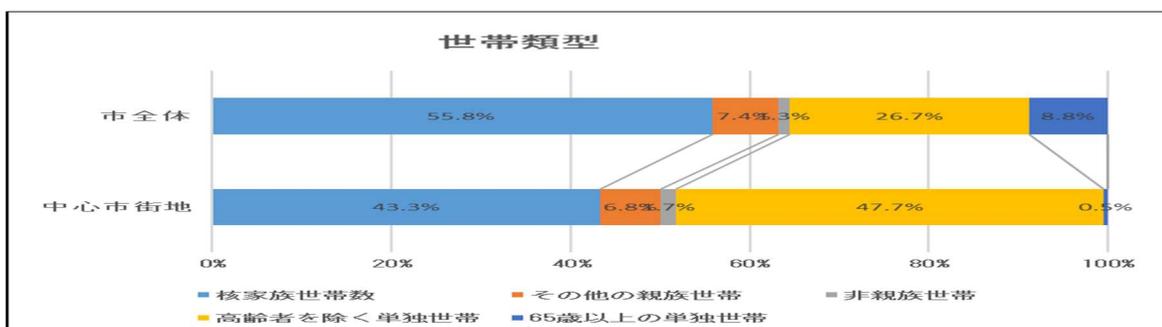
平成22年国勢調査

市全体

世帯類型	世帯総数	割合
核家族世帯数	72,086	55.8%
その他の親族世帯	9,537	7.4%
非親族世帯	1,609	1.3%
高齢者を除く単独世帯	34,528	26.7%
65歳以上の単独世帯	11,367	8.8%
家族累計不詳		

中心市街地

世帯類型	世帯総数	割合
核家族世帯数	4,170	43.3%
その他の親族世帯	651	6.8%
非親族世帯	151	1.7%
高齢者を除く単独世帯	4,596	47.7%
65歳以上の単独世帯	47	0.5%
家族累計不詳		



※世帯あたりの人数では、市全体、中心市街地ともに1人世帯が多く、その構成では、64歳以下の単独世帯が多くなっている。

※中心市街地における人口は、約2万人で推移しており、平成30年度、令和元年度において減少しているが、令和2年度において樋川市営住宅が完成したことにより人口が増加した。若干人口が減少しているが、樋川2丁目、安里地区においては増加している。

世帯については増加傾向にあり、その類型は、65歳未満の単独世帯が増加している。

樋川2丁目については、樋川市営住宅の建設に伴う増と考えられる。

安里地域については、安里駅隣接しており、国際通りや新都心に近いことが要因としてあるのではないかと考えられる。

【p.31】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

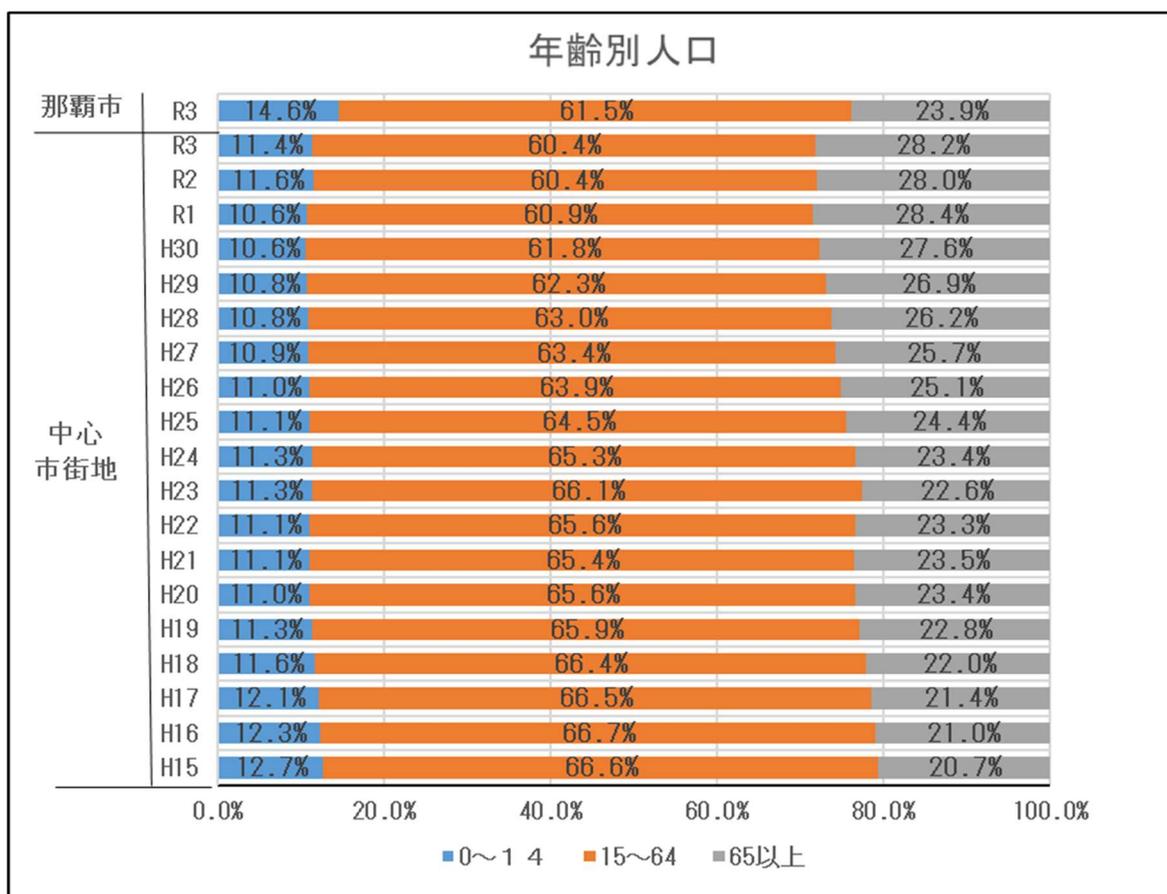
「⑤年齢別人口

本市の令和3年の65歳以上人口の割合は、市全体で23.9%であるのに対して、中心市街地では28.2%となっており、中心市街地の高齢人口の割合は高くなっている。

本市の令和3年の15歳～64歳人口の割合は、61.5%であるのに対して、中心市街地では60.4%となっており、中心市街地の生産年齢人口の割合は低くなっている。

本市の令和3年の0歳～14歳人口の割合は14.6%、であるのに対して、中心市街地では11.4%、となっており、中心市街地の年少人口の割合は低くなっている。

中心市街地の15歳～64歳人口の割合は、平成15年は66.6%であったが、令和3年には60.4%となっており、6.2ポイント低下している。一方65歳以上の人口の割合は、平成15年20.7%であったが、令和3年には28.2%となっており7.5ポイント増加している。」



資料:住民基本台帳 (各年9月末)

中心市街地の年齢別人口推移

	H27	0~14	15~64	65以上	H28	0~14	15~64	65以上	H29	0~14	15~64	65以上	H30	0~14	15~64	65以上
安里1丁目	518	56	325	137	537	56	341	140	534	52	330	152	568	48	335	185
安里2丁目	959	81	665	213	925	75	639	211	875	73	605	197	897	78	608	211
字安里	3,751	418	2412	921	3,685	413	2331	941	3,667	393	2295	979	3,705	388	2334	983
泉崎1丁目	1,257	156	788	313	1,278	150	808	320	1,245	161	754	330	1,251	148	753	350
久茂地1丁目	95	6	53	36	94	7	51	36	103	9	58	36	92	3	53	36
久茂地3丁目	627	70	388	169	641	68	408	165	616	64	392	160	581	56	362	163
壺屋1丁目	2,131	211	1358	562	2,153	202	1359	592	2,156	196	1357	603	2,126	186	1335	605
樋川2丁目	948	80	593	275	760	68	471	221	728	58	455	215	662	49	415	198
牧志1丁目	1,434	176	869	389	1,426	168	857	401	1,405	175	827	403	1,412	178	824	410
牧志2丁目	2,054	250	1336	468	2,086	268	1340	478	2,101	268	1339	494	2,090	264	1325	501
牧志3丁目	2,167	231	1392	544	2,143	207	1376	560	2,106	202	1329	575	2,086	211	1276	599
松尾1丁目	1,612	219	993	400	1,776	242	1096	438	1,799	260	1099	440	1,753	252	1062	439
松尾2丁目	2,731	257	1694	780	2,733	261	1675	797	2,699	250	1648	801	2,617	241	1579	797
計	20,284	2211	12866	5207	20,237	2185	12752	5300	20,034	2161	12488	5385	19,840	2102	12261	5477
全体	322,717	51,110	207,009	65,439	323,556	50,619	205,678	67,696	323,993	49,849	203,380	68,835	322,393	49,725	201,319	71,799

	R1	0~14	15~64	65以上	R2	0~14	15~64	65以上	R3	0~14	15~64	65以上
安里1丁目	563	54	314	195	548	53	298	197	557	48	299	210
安里2丁目	880	80	568	232	880	83	563	234	937	90	615	232
字安里	3,691	382	2282	1027	3,640	379	2220	1041	3,714	388	2264	1062
泉崎1丁目	1,272	150	768	354	1,274	146	775	353	1,256	145	764	347
久茂地1丁目	89	3	50	36	78	2	42	34	80	2	46	32
久茂地3丁目	566	54	354	158	544	47	348	149	546	44	347	155
壺屋1丁目	2,136	214	1296	626	2,078	197	1265	616	2,033	181	1241	611
樋川2丁目	645	50	408	187	1,223	323	707	193	1,287	342	750	195
牧志1丁目	1,387	159	829	399	1,371	155	805	411	1,318	141	767	410
牧志2丁目	2,041	242	1289	510	2,146	268	1345	533	2,129	266	1326	537
牧志3丁目	2,063	213	1247	603	2,023	200	1233	590	1,986	183	1210	593
松尾1丁目	1,696	236	1013	447	1,691	243	998	450	1,622	218	968	436
松尾2丁目	2,627	254	1555	818	2,549	224	1514	811	2,500	231	1458	811
計	19,656	2091	11973	5592	20,045	2320	12113	5612	19,965	2279	12055	5631
全体	321,729	48,368	199,803	73,558	320,657	47,577	198,051	75,029	318,510	46,548	195,910	76,052

※R3年とR2年をみた場合、安里地区においては、安里2丁目、字安里において15歳から64歳の人口が52名増、44名増となっており、樋川2丁目においては、0歳から14歳が19名の増、15歳から64歳が43名増となっている。

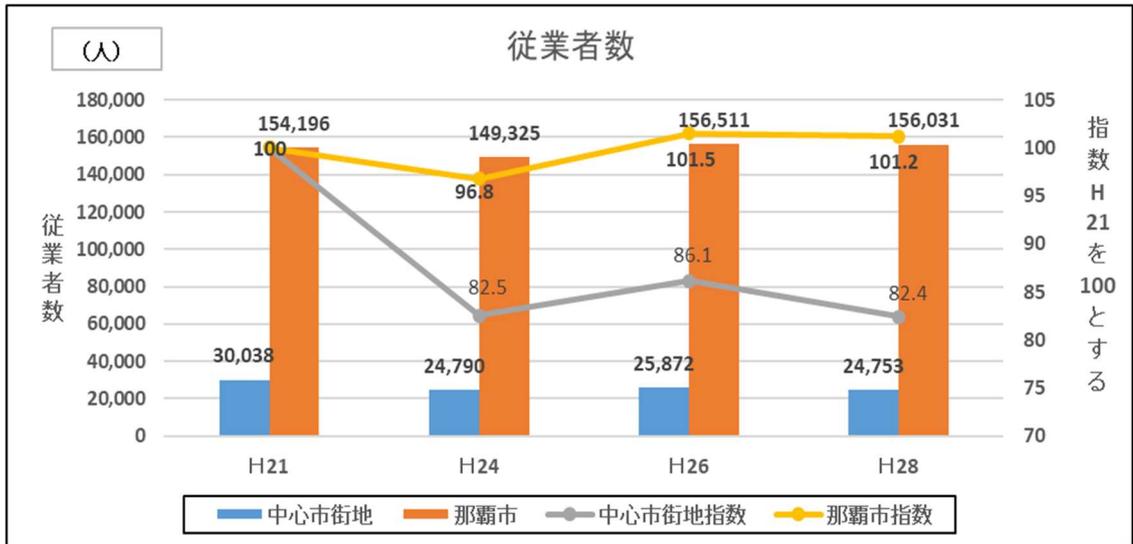
【p.33】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「②従業員の動向

平成 28 年の中心市街地の従業者数は 24,753 人となっており、本市全体の従業者数 156,031 人の 15.9%を占めている。

中心市街地の従業者数は、平成 21 年の 30,038 人から、平成 28 年の 24,753 人へと 17.6%減少している。同期間の本市全体では、1.2 ポイント上昇しており、中心市街地においては、従業者が逆に 17.6 ポイント減少している。」



資料:経済センサス

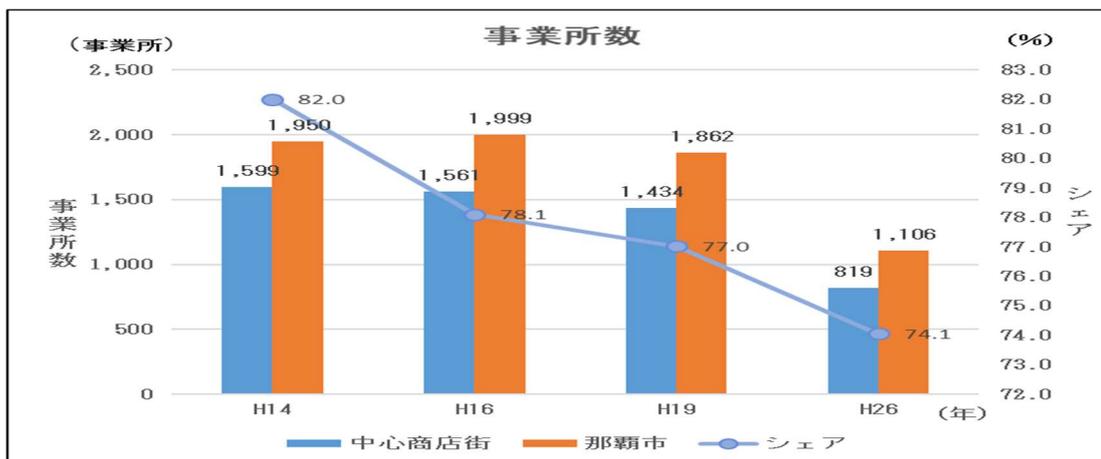
【p. 35】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「 2)小売業事業所数

平成 26 年の本市全体の小売業事業所数は 1,106 店で、平成 14 年の 1,950 店に対し率 43.3%と大幅に減少している。

中心市街地の平成 26 年の小売業事業所数は 819 店で、平成 14 年の 1,599 店から 48.8%の減少となっており、中心市街地においても大幅に減少している。中心市街地が本市全体に占めるシェアは、平成 14 年の 82.0%から、平成 26 年の 74.1%と 7.9 ポイント低下している。」



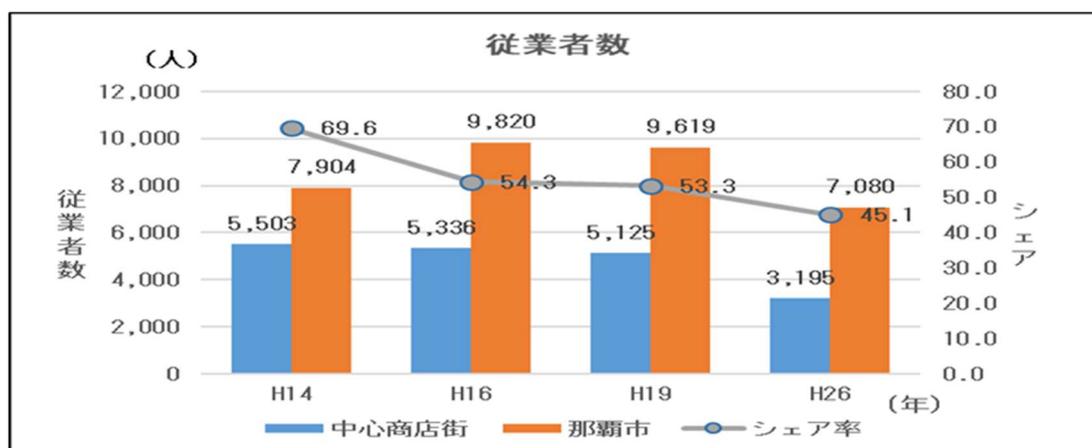
資料：商業統計 立地環境特性格別統計

「 3)小売業従業者数

平成 26 年の本市全体の小売業従業者数は 7,080 人で、平成 14 年の 7,904 人に対し 10.4%の減少となっている。

中心市街地の平成 26 年の小売業従業者数は 3,195 人で、平成 14 年の 5,503 人から 41.9%と大幅に減少している。

中心市街地が本市全体に占めるシェアは、平成 14 年の 69.6%から、平成 26 年には、45.1%と 24.5 ポイント低下している。」



資料：商業統計 立地環境特性格別統計

※商業統計は、5 年(中間年には簡易調査実施)に一度実施されていたが、経済構造調査実施に伴い、平成 27 年以降調査は廃止されている。なお、これらの調査においては、町字別等の詳細な資料はない。

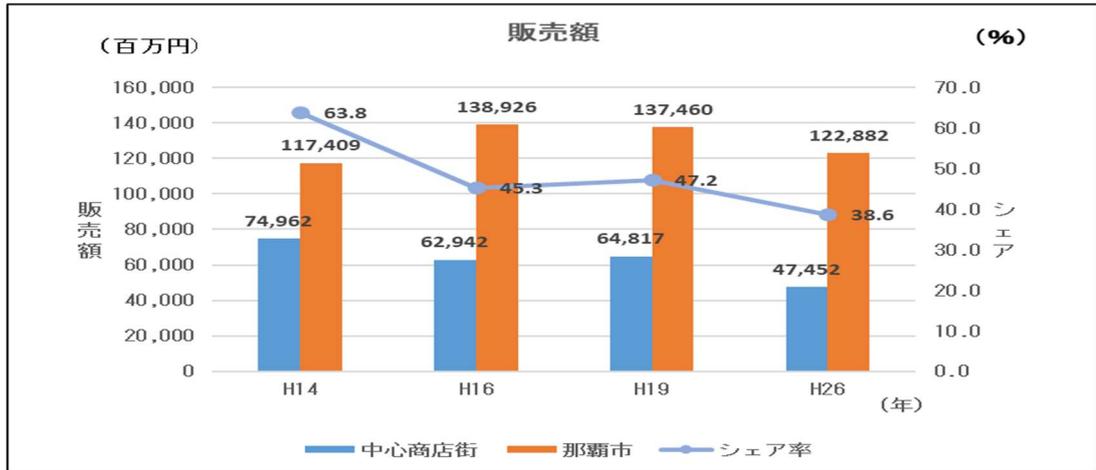
【p36】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「 4)小売販売額

平成 26 年の本市全体の小売販売額は、122,882 百万円で、平成 14 年の 117,409 百万円に対し 4.7%増加している。

中心市街地の平成 26 年の小売販売額は 47,452 百万円で、平成 14 年の 74,962 百万円に対して 36.7%の減少となっている。中心市街地が本市全体に占めるシェアは、平成 14 年の 63.8%から、平成 26 年の 38.6%へと 25.2 ポイント低下している。」

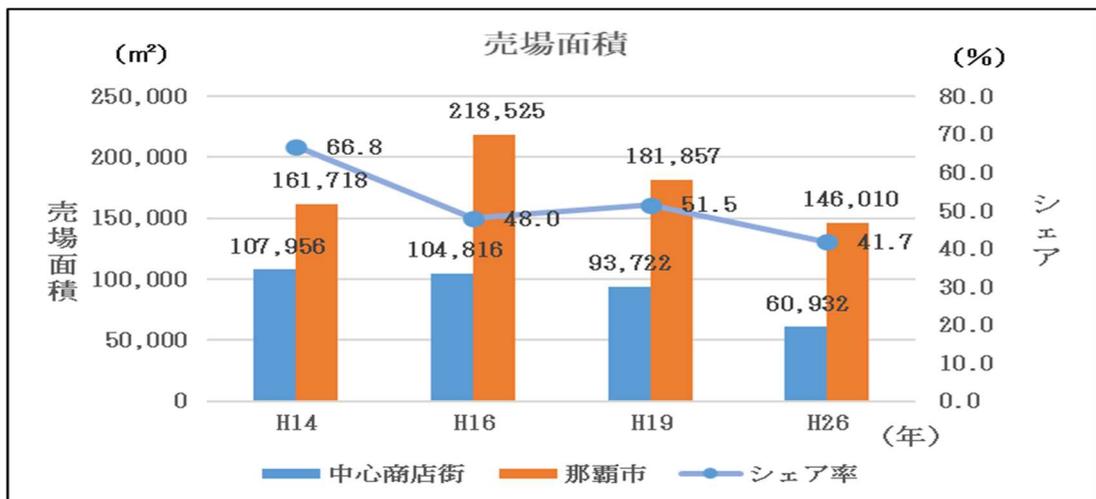


資料:商業統計 立地環境特性別統計

「 5)小売業売場面積

平成 26 年の本市全体の小売業売場面積は 146,010 m²で、平成 14 年の 161,718 m²に対し 9.7%減少している。

中心市街地の平成 26 年の小売業売場面積は 60,932 m²で、平成 14 年の 107,956 m²に対し 43.6%と大きく減少している。中心市街地が本市全体に占めるシェアは、平成 14 年の 66.8%から、平成 26 年の 41.7%へと 25.1 ポイント低下している。」



資料:商業統計 立地環境特性別統計

※商業統計は、5 年(中間年には簡易調査実施)に一度実施されていたが、経済構造調査実施に伴い、平成 27 年以降調査は廃止されている。なお、これらの調査においては、町字別等の詳細な資料はない。

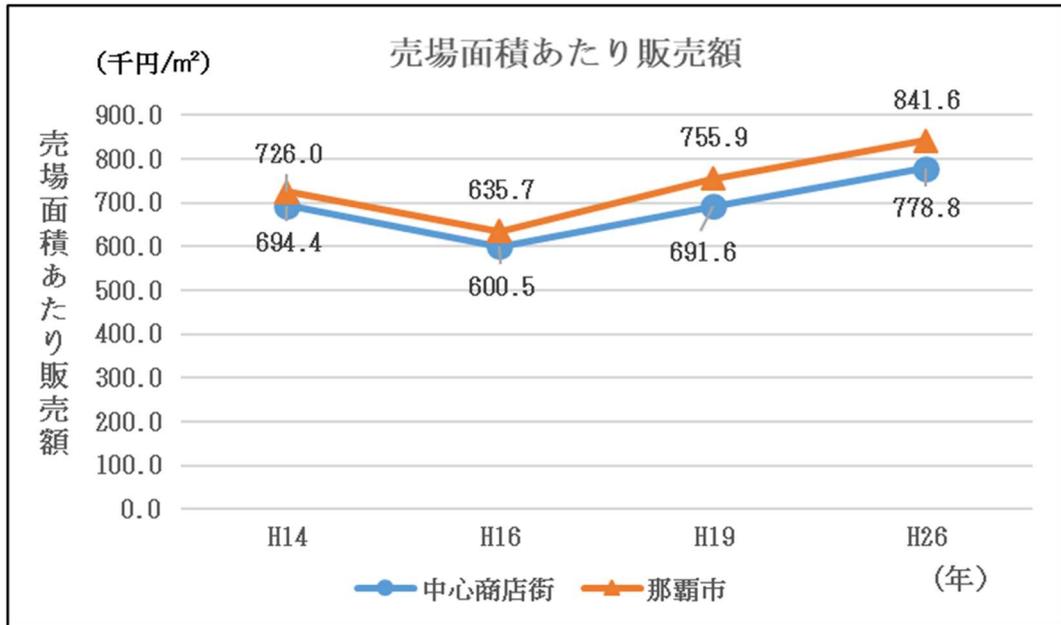
【p37】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「 6)小売業売場面積あたり販売額

中心市街地の小売業売場面積あたり販売額は、平成 14 年の 694.4 千円/㎡から平成 26 年の 778.8 千円/㎡へと上昇している。

本市全体の小売業売場面積あたり販売額は 841.6 千円/㎡となっており、中心市街地よりも高くなっている。」



資料: 商業統計 立地環境特性別統計

※商業統計は、5 年(中間年には簡易調査実施)に一度実施されていたが、経済構造調査実施に伴い、平成 27 年以降調査は廃止されている。なお、これらの調査においては、町字別等の詳細な資料はない。

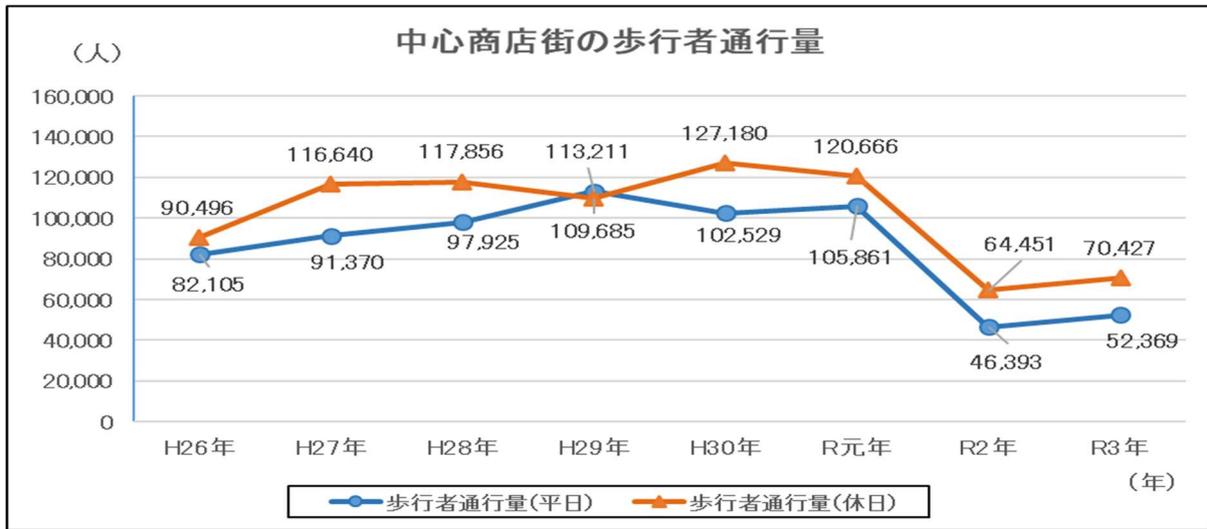
【p.38】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「②中心商店街の歩行者通行量

令和3年度の中心商店街の歩行者通行量計(那覇市中心商店街通行量調査)は、平日52,369人、休日70,427人となっており、休日の通行量が18,058人多い。

歩行者通行量は、平成15年8月の「ゆいレール」開通等の要因により平成15年度にいったん増加はしているものの、平成8年の120,462人(平日)から平成26年には、82,105人へと31.8%減少傾向にあった。平成27年から令和元年にかけて回復傾向に転じたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症による影響を受け通行量はピーク時から4割程度減少している。」



資料:那覇市中心商店街通行量調査

年度別通り別通行量調査の推移(平日)

通り名	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		増減数	増減率
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
パレットくもじ周辺	8,741	10.6%	9,539	10.4%	9,075	9.3%	11,071	9.8%	9,772	9.5%	12,064	11.4%	7,471	16.1%	8,049	17.3%	-692	-7.9%
国際通り泉丘駅前	15,006	18.3%	16,178	17.7%	14,017	14.3%	20,098	17.8%	17,057	16.6%	18,004	17.0%	5,924	12.8%	7,257	15.6%	-7,749	-51.6%
国際中央通り	12,195	14.9%	15,939	17.4%	18,331	18.7%	19,093	16.9%	16,760	16.3%	17,231	16.3%	5,342	11.5%	6,437	13.9%	-5,758	-47.2%
国際大通り	7,296	8.9%	9,556	10.5%	11,281	11.5%	13,819	12.2%	15,214	14.8%	14,930	14.1%	4,905	10.6%	5,735	12.4%	-1,561	-21.4%
畜産通り	3,367	4.1%	3,450	3.8%	3,459	3.5%	3,976	3.5%	3,409	3.3%	3,607	3.4%	2,145	4.6%	2,548	5.5%	-819	-24.3%
パレット・国際通り小計	46,605	56.8%	54,662	59.8%	56,163	57.4%	68,057	60.1%	62,212	60.7%	65,836	62.2%	25,787	55.6%	30,026	64.7%	-16,579	-35.6%
平和通り	10,705	13.0%	11,975	13.1%	13,900	14.2%	14,385	12.7%	14,535	14.2%	12,926	12.2%	5,765	12.4%	6,547	14.1%	-4,158	-38.8%
水上店舗	10,348	12.6%	12,687	13.9%	13,801	14.1%	14,738	13.0%	11,545	11.3%	11,709	11.1%	4,971	10.7%	5,983	12.9%	-4,365	-42.2%
新栄通り	4,979	6.1%	4,142	4.5%	4,801	4.9%	4,771	4.2%	4,450	4.3%	4,286	4.0%	3,271	7.1%	3,334	7.2%	-1,645	-33.0%
沖映通り	5,358	6.5%	4,187	4.6%	5,849	6.0%	7,298	6.4%	6,479	6.3%	7,332	6.9%	3,731	8.0%	3,564	7.7%	-1,794	-33.5%
洋島通り	1,223	1.5%	1,442	1.6%	1,286	1.3%	1,432	1.3%	1,103	1.1%	1,694	1.6%	1,101	2.4%	1,072	2.3%	-151	-12.3%
栄町市場	2,887	3.5%	2,275	2.5%	2,125	2.2%	2,530	2.2%	2,205	2.2%	2,078	2.0%	1,767	3.8%	1,843	4.0%	-1,044	-36.2%
その他の通り小計	35,500	43.2%	36,708	40.2%	41,762	42.6%	45,154	39.9%	40,317	39.3%	40,025	37.8%	20,606	44.4%	22,343	48.2%	-13,157	-37.1%
中心商店街計	82,105	100.0%	91,370	100.0%	97,925	100.0%	113,211	100.0%	102,529	100.0%	105,861	100.0%	46,393	100.0%	52,369	112.9%	-29,736	-36.2%

年度別通り別通行量調査の推移(休日)

通り名	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		増減数	増減率
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
パレットくもじ周辺	6,981	7.7%	9,705	13.8%	8,699	7.4%	7,521	6.9%	13,391	10.5%	11,060	9.2%	6,849	10.6%	7,002	10.9%	21	0.3%
国際通り泉丘駅前	13,022	14.4%	19,552	27.8%	18,028	15.3%	16,015	14.6%	18,618	14.8%	19,015	15.8%	8,688	13.5%	8,007	12.4%	-5,015	-38.5%
国際中央通り	12,757	14.1%	19,984	28.4%	20,096	17.1%	7,384	6.7%	20,245	15.9%	12,208	10.1%	10,972	17.0%	11,011	17.1%	-1,746	-13.7%
国際大通り	11,023	12.2%	16,796	23.8%	20,147	17.1%	22,920	20.9%	19,668	15.5%	27,002	22.4%	8,326	12.9%	9,843	15.3%	-1,180	-10.7%
畜産通り	5,353	5.9%	4,774	6.8%	5,300	4.5%	7,655	7.0%	5,861	4.6%	5,311	4.4%	2,504	3.9%	3,701	5.7%	-1,652	-30.9%
パレット・国際通り小計	49,136	54.3%	70,811	100.5%	72,270	61.3%	61,495	56.1%	77,783	61.2%	74,596	61.8%	37,339	57.9%	39,564	61.4%	-9,572	-19.5%
平和通り	13,489	14.9%	14,277	12.3%	15,341	13.0%	15,543	14.2%	16,053	12.6%	15,112	12.5%	7,629	11.8%	9,673	15.0%	-3,816	-28.3%
水上店舗	12,992	14.4%	16,713	23.7%	14,831	12.6%	15,884	14.5%	16,403	12.9%	13,755	11.4%	7,980	12.4%	8,855	13.7%	-4,137	-31.8%
新栄通り	4,864	5.4%	4,468	6.3%	5,105	4.3%	5,142	4.7%	5,120	4.0%	4,313	3.6%	3,506	5.4%	4,379	6.8%	-485	-10.0%
沖映通り	7,243	8.0%	6,978	9.9%	7,441	6.3%	8,168	7.4%	8,421	6.6%	9,312	7.7%	5,034	7.8%	4,842	7.5%	-2,401	-33.1%
洋島通り	1,575	1.7%	2,333	3.3%	1,771	1.5%	2,210	2.0%	2,199	1.7%	2,256	1.9%	1,829	2.8%	2,023	3.1%	448	28.4%
栄町市場	1,197	1.3%	1,060	1.5%	1,097	0.9%	1,243	1.1%	1,201	0.9%	1,322	1.1%	1,134	1.8%	1,091	1.7%	-106	-8.9%
その他の通り小計	41,360	45.7%	45,829	57.1%	45,586	38.7%	48,190	43.9%	49,397	38.8%	46,070	38.2%	27,112	42.1%	30,863	47.9%	-10,497	-25.4%
中心商店街計	90,496	100.0%	116,640	100.0%	117,856	100.0%	109,685	100.0%	127,180	100.0%	120,666	100.0%	64,451	100.0%	70,427	109.3%	-20,069	-22.2%

資料:那覇市中心商店街通行量調査

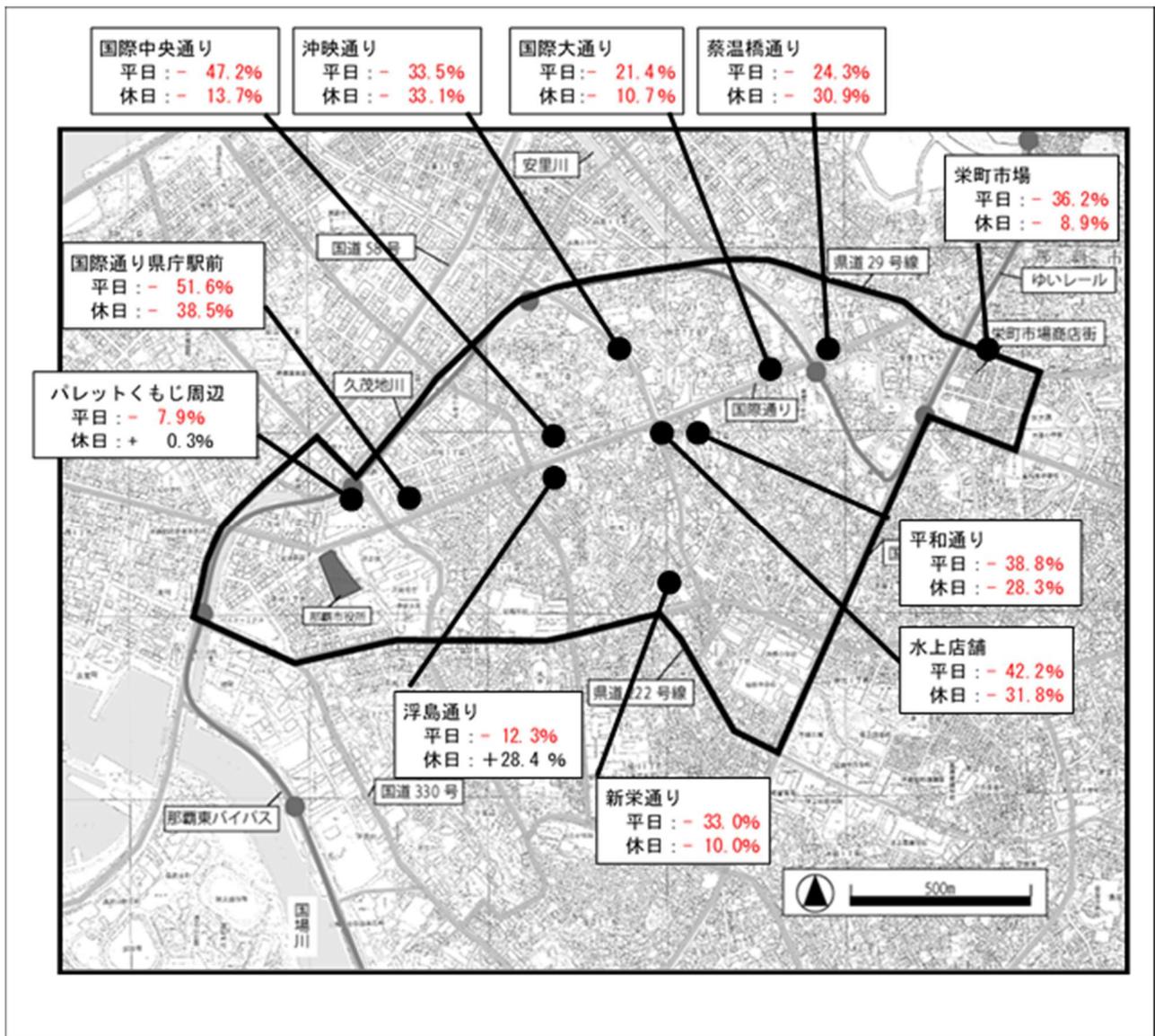
【p.39】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「○通り別の歩行者通行量の動向

平成 26 年から令和 3 年にかけて、平日の歩行者通行量は新型コロナウイルス感染症による影響を受け軒並み減少している。休日の歩行者通行量については、「パレットくもじ周辺」、「浮島通り」において増加がみられるものの、その他 9 か所の通りでは減少している。」

■通り別の歩行者通行量の推移(平成 26 年⇒令和 3 年の増減率)



資料:那覇市中心商店街通行量調査

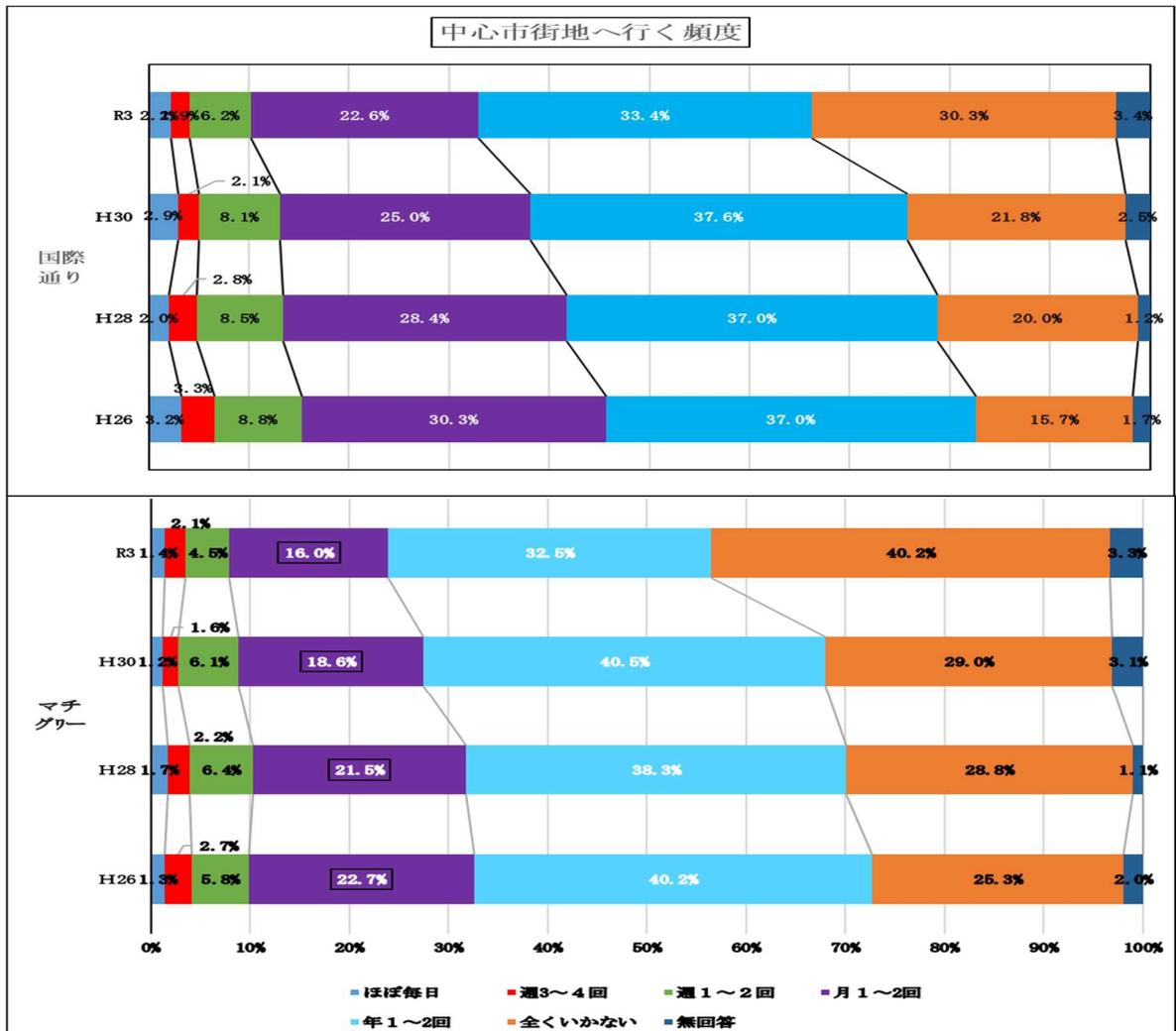
【p.40】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「③那覇市民が中心商店街へ行く頻度

那覇市民が中心商店街へ行く頻度については、「令和3年度 那覇市民意識調査」のアンケート結果によると、「国際通り」は「年1～2回」が33.4%と最も多く、「年1～2回」と「全く行かない」の合計は63.7%となっている。「マチグラー」については、「全くいかない」が40.2%と最も多く、「年1～2回」と「全く行かない」の合計は72.7%となっている。

「国際通り」について平成26年度の結果と比較すると、平成26年度には「年1～2回」と「全く行かない」の合計は52.7%であり、平成26年度から令和3年度にかけて11ポイント増加している。」



※令和3年度市民意識調査回答者数 1,325人

資料:令和3年度 那覇市民意識調査

※令和3年度調査で、国際通りへ、全く行かないが30.3%、年に1～2回が33.4%になっており合計すると63.7%となっている。マチグラーについては、全く行かないが40.2%、年に1～2回が32.5%で合計72.7%となっている。

前回の調査:平成30年度では、国際通りへ、全く行かないが21.8%、年に1～2回が37.6%になっており合計すると59.4%となっている。マチグラーについては、全く行かないが29.0%、年に1～2回が40.5%で合計69.5%となっている。

今回調査と前回は比較してみると、国際通りへは、行かない又は年1～2回が4.3ポイント増加しており、マチグラーについては、行かない又は年1～2回が3.2ポイント増加しており、コロナ禍の影響もあるものと思われるが地元客の足が遠のいている。

【p.41】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「④大規模小売店舗の動向

大規模小売店舗は、計画策定時で本市を含む中南部合計で 171 店舗であったが、令和 3 年度 203 店舗となっており、32 店舗、18.7%の増となっている。本市においては、43 店舗から 50 店舗へ 7 店舗、16.3%の増となっている。

近年、大規模小売店舗の立地として、豊見城市(イーアス)、浦添市(パルコシティ)、北中城村(イオンモール沖縄ライカム)等、本市以外に地への立地が見られる。」

大規模小売店舗の立地状況

区域	区域		店舗数		店舗面積	
	区域面積 (Km ²)	比率	店舗数	比率	店舗面積 (m ²)	比率
中心市街地	1.67	0.4%	11	5.4%	54,582	4.6%
那覇市	39.27	8.5%	50	24.6%	217,877	18.2%
那覇広域都市計画区域	217.11	46.8%	130	64.0%	838,665	70.0%
南城都市計画区域	47.91	10.3%	3	1.5%	10,297	0.9%
中部広域都市計画区域	198.85	42.9%	70	34.5%	349,021	29.1%
那覇+南城+中部計	463.87	100.0%	203	100.0%	1,197,983	100.0%

資料:経済産業省大規模小売店立地届から



資料:経済産業省大規模小売店立地届から

【p42】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「⑤買物動向

○地元購買率、吸引状況

那覇市民の市内における地元購買率は、調査8品目いずれにおいても、近隣市町村より高い。」

地元購買率

平成30年

	1.飲食料品	2.日用品	3.実用衣料品	4.ファッション衣料品	5.身回用品	6.文化品	7.家具・家電	8.贈答用品	平均
那覇市	93.0%	92.8%	91.8%	89.8%	91.8%	90.4%	87.3%	92.6%	91.2%
浦添市	79.6%	78.0%	66.7%	55.3%	56.5%	60.7%	57.1%	64.5%	64.8%
豊見城市	85.5%	83.7%	74.6%	71.4%	71.5%	75.9%	74.6%	80.6%	77.2%
西原町	74.1%	79.8%	79.8%	73.5%	78.0%	75.9%	79.2%	79.4%	77.5%
南風原町	79.4%	82.0%	78.6%	64.1%	63.1%	63.1%	70.5%	73.3%	71.8%

資料:平成30年度沖縄県買物動向調査

○吸引力

南部地区においては、調査8品目どの品目においても那覇市が非常に強力な吸引市町村となっており、次に豊見城市、南風原町 浦添市が見られる。

那覇市においては、中部地区だけではなく北部からの吸引も高い。

1.飲食料品

那覇市	豊見城市	与那原町
那覇市	93.0%	
渡嘉敷村	40.9%	
読名喜村	31.3%	
座間味村	27.3%	
粟国村	19.2%	
浦添市	13.1%	

2.日用品

那覇市	浦添市	豊見城市	南風原町
那覇市	92.8%	16.2%	
渡嘉敷村	72.7%	14.3%	
読名喜村	68.6%	13.6%	
座間味村	40.9%	8.6%	
粟国村	22.7%	6.5%	
北大東村	22.2%	5.2%	
伊是名村	19.2%	5.1%	

3.実用衣料品

那覇市	那覇市	豊見城市
那覇市	91.8%	14.3%
渡嘉敷村	81.8%	14.3%
座間味村	68.2%	13.7%
北大東村	57.1%	11.7%
北大東村	45.0%	11.3%
伊平屋村	31.8%	9.3%
伊是名村	28.0%	8.3%
久米島町	27.6%	6.3%
浦添市	24.7%	5.8%
与那国町	20.0%	5.0%

4.ファッション衣料品

那覇市	那覇市	豊見城市	南風原町
那覇市	89.8%	17.6%	
渡嘉敷村	81.8%	16.8%	
粟国村	66.7%	15.8%	
座間味村	63.6%	14.7%	
北大東村	45.6%	13.3%	
伊平屋村	35.7%	12.9%	
浦添市	35.2%	12.3%	
伊是名村	35.0%	9.7%	
糸満市	33.3%	9.7%	
八重瀬町	30.7%	9.5%	
久米島町	29.6%	8.9%	
国頭村	26.7%	8.9%	
与那国町	21.9%	8.8%	
今帰仁村	20.8%	7.5%	
南城市	19.7%	7.1%	
		5.0%	

5.身回用品

那覇市	南城市	豊見城市
那覇市	91.8%	20.3%
渡嘉敷村	81.8%	19.3%
読名喜村	81.3%	17.6%
北大東村	80.0%	17.3%
粟国村	72.2%	15.9%
座間味村	63.6%	13.9%
伊是名村	40.0%	10.7%
伊平屋村	35.7%	10.0%
浦添市	33.9%	9.1%
多良間村	33.3%	8.7%
北大東村	31.8%	8.6%
八重瀬町	30.8%	8.3%
久米島町	30.8%	8.3%
糸満市	29.1%	7.8%
今帰仁村	28.0%	7.5%
南風原町	23.4%	7.2%
国頭村	21.4%	6.5%

6.文化品

那覇市	南城市	豊見城市	南風原町
那覇市	90.4%	19.6%	
北大東村	85.7%	18.5%	
渡嘉敷村	81.8%	18.2%	
読名喜村	81.3%	17.9%	
粟国村	65.0%	16.7%	
座間味村	63.6%	16.0%	
北大東村	40.9%	13.1%	
伊是名村	35.0%	9.5%	
久米島町	33.3%	9.0%	
浦添市	30.5%	8.9%	
八重瀬町	21.7%	8.6%	
南風原町	20.7%	7.1%	
多良間村	20.0%	6.3%	
		5.5%	

7.家具・家電

那覇市	多良間村	浦添市	豊見城市
那覇市	87.3%	16.7%	
渡嘉敷村	77.3%	15.9%	
読名喜村	68.8%	15.5%	
北大東村	66.7%	13.8%	
座間味村	63.6%	13.5%	
粟国村	55.6%	13.3%	
北大東村	50.0%	12.8%	
伊是名村	33.3%	10.1%	
浦添市	30.4%	9.3%	
久米島町	23.1%	8.0%	
与那国町	20.6%	7.1%	
八重瀬町	19.5%	6.5%	

8.贈答品

那覇市	多良間村	浦添市	南風原町
那覇市	92.6%	16.7%	
渡嘉敷村	85.0%	15.2%	
座間味村	63.6%	14.7%	
読名喜村	58.3%	14.4%	
粟国村	50.0%	13.5%	
北大東村	40.9%	12.5%	
浦添市	28.5%	12.0%	
伊是名村	27.8%	11.1%	
伊平屋村	25.0%	10.5%	
八重瀬町	20.3%	10.1%	
久米島町	19.2%	10.0%	
今帰仁村	17.4%	7.7%	
糸満市	16.9%	7.5%	
		6.9%	

資料:平成30年度沖縄県買物動向調査

◆買物出向比率

各居住地から、商店及び商業集積地へ買物に出かけていく割合であり、視点に応じて地元購買率、吸引率ともいう。

- ・地元購買率＝自市町村への買物出向比率
- ・吸引率＝他市町村から自市町村への買物出向比率

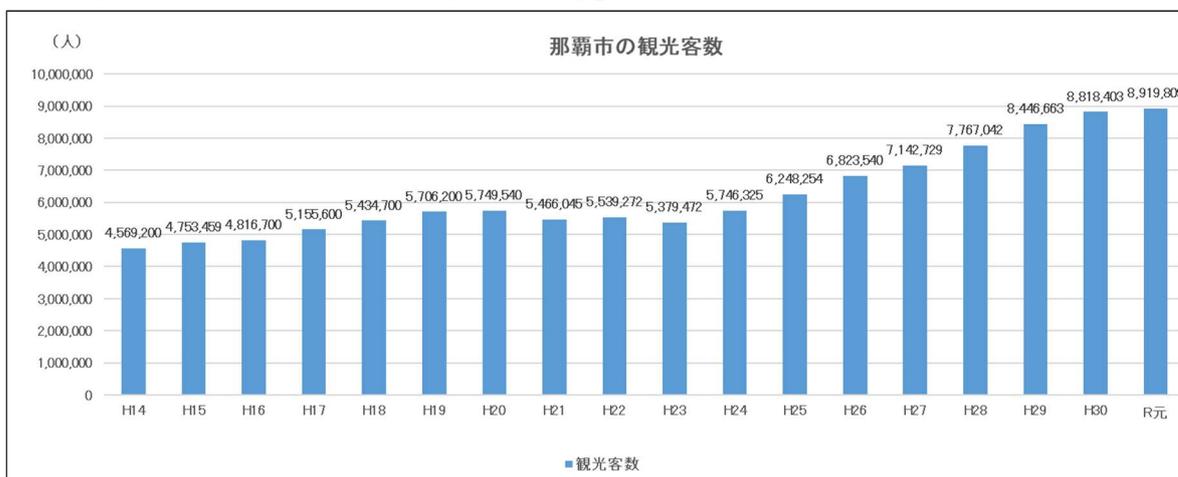
※平成30年度からの沖縄県買物動向調査において、調査内容変更に伴い、従来のような掲載が不可となった。

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。校長

「(5)観光

① 那覇市の観光客の動向

本市は「沖縄観光」の玄関口となっていることから、好調な沖縄観光と連動して、本市の観光客数も増加してきた。観光収入は、平成26・27年で増加していたが、観光客一人あたりの消費額はおおむね横ばいで推移している。」



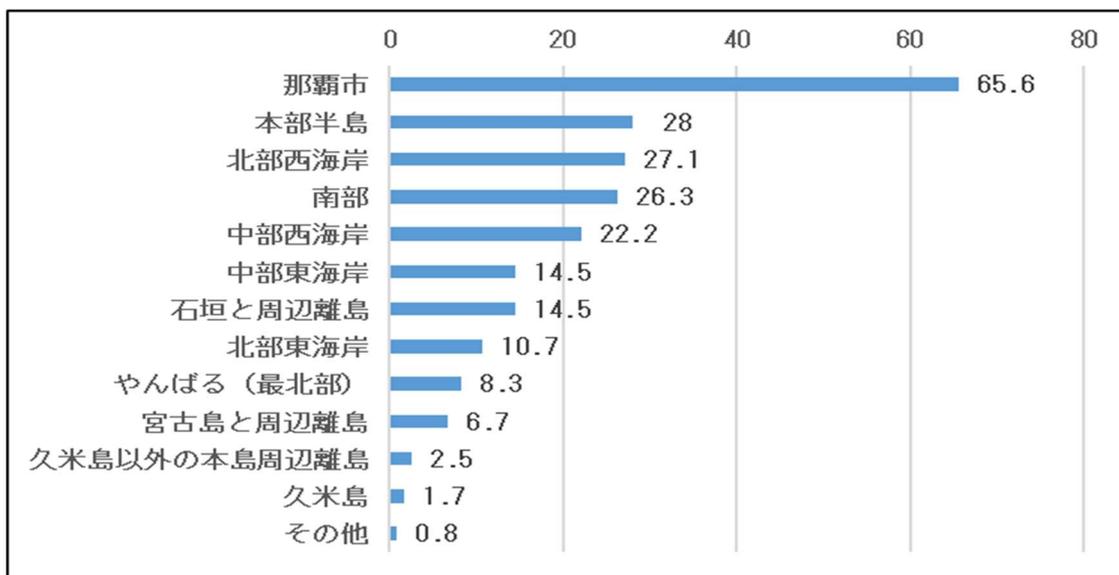
資料：令和元年度版那覇市の観光統計

注：観光収入については、平成28年度以降算出が「宿泊客と通過客の消費総額」から「宿泊客の消費総額」へ変更となっている。

【p.44】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「沖縄県「観光統計実態調査」のアンケート結果によると、沖縄県を訪れた観光客のうちの65.6%が本市を訪れている。本島以外では、石垣と周辺離島への訪問が14.5%、宮古と周辺離島が6.7%、などとなっている。」



資料: 令和元年度観光統計実態調査(沖縄県)

回答は複数回答 (注) 移動で通過しただけの場所は除く。構成比は無回答割り戻し後。

※年度の構成比は、年4回調査の構成比を四半期ごとの入域観光客数をウェイトとしてサンプルに重みづけを行う加重平均によって算出されている。

観光客が訪れる地域の割合

R1

那覇市	65.6
本部半島	28.0
北部西海岸	27.1
南部	26.3
中部西海岸	22.2
中部東海岸	14.5
石垣と周辺離島	14.5
北部東海岸	10.7
やんばる (最北部)	8.3
宮古島と周辺離島	6.7
久米島以外の本島周辺離島	2.5
久米島	1.7
その他	0.8

H30

那覇市	66.4
本部半島	29.3
北部西海岸	27.7
南部	27.4
中部西海岸	22.1
中部東海岸	15.8
石垣と周辺離島	13.6
北部東海岸	10.2
やんばる (最北部)	7.8
宮古島と周辺離島	6.6
久米島以外の本島周辺離島	3.7
久米島	1.7
その他	0.8

H29

那覇市	67.1
本部半島	30.1
北部西海岸	29.0
南部	26.5
中部西海岸	21.6
中部東海岸	15.1
石垣と周辺離島	13.4
北部東海岸	8.9
やんばる (最北部)	8.2
宮古島と周辺離島	6.3
久米島以外の本島周辺離島	2.9
久米島	1.6
その他	1.0

H28

那覇市	67.3
本部半島	31.1
北部西海岸	28.0
南部	27.8
中部西海岸	23.1
中部東海岸	15.4
石垣と周辺離島	14.0
北部東海岸	8.5
やんばる (最北部)	8.1
宮古島と周辺離島	6.0
久米島以外の本島周辺離島	3.3
久米島	2.0
その他	0.6

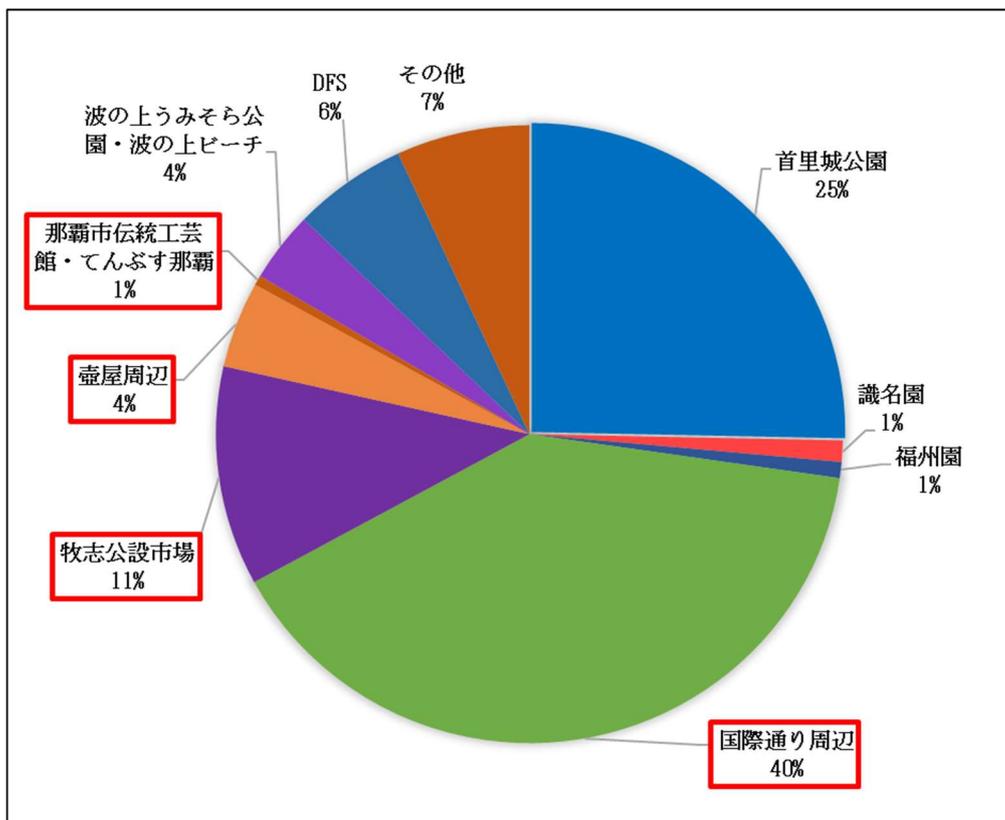
【p.45】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「 ②那覇市中心市街地の観光客の動向

市内の宿泊施設に宿泊された観光客を対象にしたアンケート調査によると、滞在中に訪れた観光地は、市内では「国際通り周辺」が 40.%と最も多く、次いで「首里城」(25%)となっている。中心市街地に位置する「国際通り」「牧志公設市場」「壺屋周辺」「てんぷす那覇」「那覇市伝統工芸館」を合わせた割合は 56%となっており、多くの観光客が中心市街地を訪れている。」

■観光地別訪問者構成比（複数回答有）



資料：令和元年度那覇市の観光統計

*調査対象から、新都心のカテゴリーが削除されているため配分比率は、H28年に策定された中活基本計画と異なる。

※老朽化した第一牧志公設市場については、2019年(令和元年)6月から建替えを行っており、令和5年3月供用開始の予定となっている。

※2019年(令和元年)10月31日、首里城は大規模な火災により正殿、北殿、南殿など7棟が焼失し、現在復興に向け作業が進められている。

【p.46】

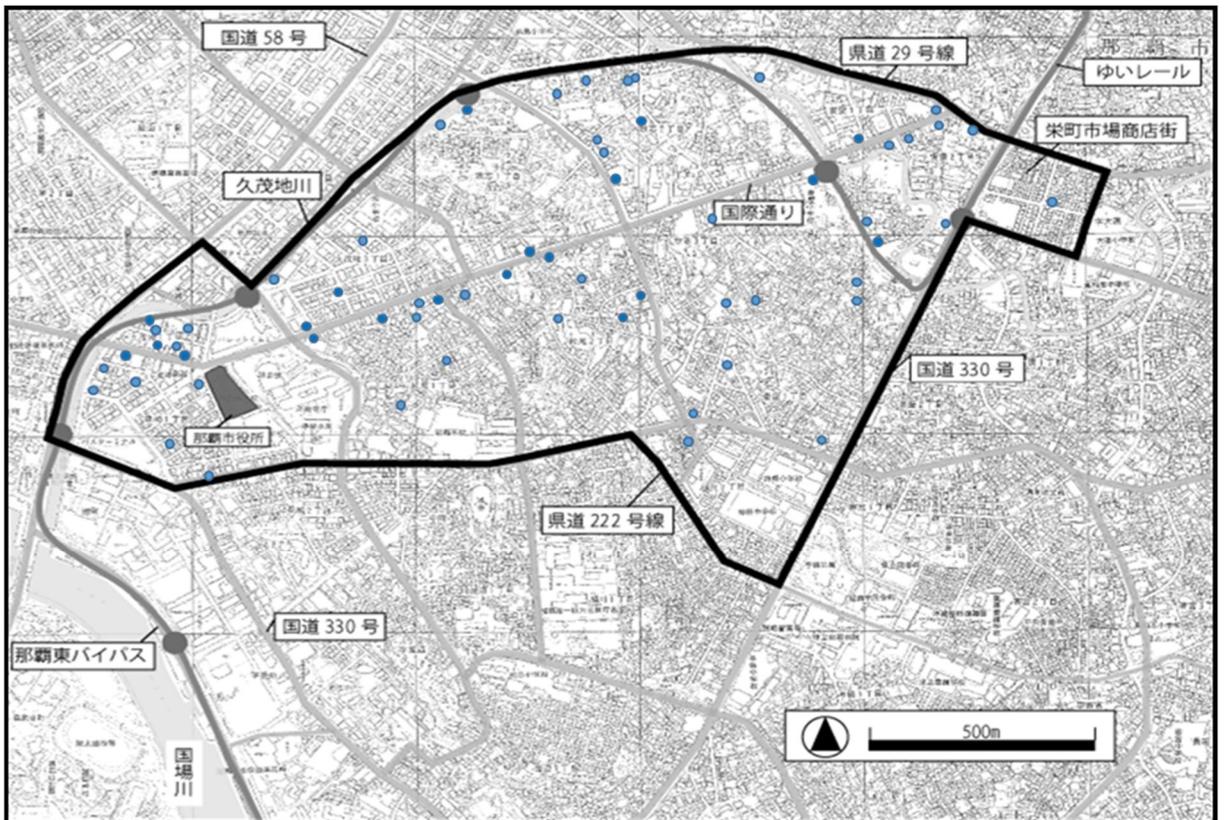
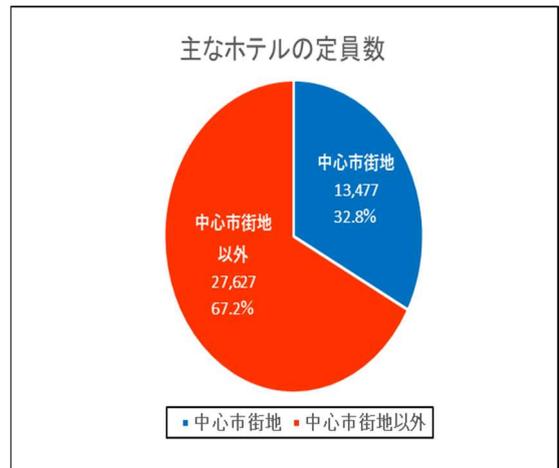
○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「③中心市街地のホテルの状況

中心市街地には、国際通りを中心に主なホテルが 81 軒立地している。

中心市街地の主なホテルの定員数の合計は 13,477 人となっており、これは市内の主なホテルの定員数合計 41,104 人の 32.8%を占めている。

中心市街地の主なホテルは、平成 26 年度に比べ、軒数で 57 軒、定員数では 7,950 人の増となっている。」



資料:那覇市観光課 (令和 3 年 12 月末時点)

主なホテルの定員数

中心市街地	13,477	32.8%
中心市街地以外	27,627	67.2%
ホテル定員数	41,104	100.0%

【p.47】

○文章ならびに表を次のようにあらためる。

「④イベント・行事

本市の中心市街地および周辺地域においては、歴史やスポーツ、文化等に関連した多数のイベント・行事が開催されている。」

■那覇市の主なイベント（※網掛けは、中心市街地においても実施されているイベント）

イベント名	開催期日	場所	市町村	入場者数 (人)	うち県外海 外客延べ人 数(人)	主催者
第45回 那覇ハーリー	5/3~5/5	那覇新港ふ頭	那覇市	202,000	-	那覇ハーリー 実行委員会
夏祭り in 那覇 2019 一万人の エイサー踊り隊	8/4	国際通り	那覇市	90,800	23,000	夏祭り in 那覇 実行委員会
那覇大綱挽まつり	10/12~10/14	国道58号久茂地 交差点 奥武山公園	那覇市	675,000	-	那覇大綱挽き まつり実行委 員会 那覇大綱挽保 存会
第42回 沖縄の 産業まつり	10/19~10/21	奥武山総合運動 公園 沖縄県立武道館	那覇市	260,200	-	沖縄の産業ま つり実行委員 会
首里城祭	10/25~11/3	首里城公園 他	那覇市	29,552	-	首里城祭実行 委員会
第35回 NAHA マラソン	12/1	奥武山総合運動 公園他	那覇市ほか	22,770	9,043	NAHAマラ ソン協会
第11回 沖縄国 際映画祭	4/14~4/21	沖縄コンベンシ ョンセンター他	宜野湾市 那覇市 他	300,000	-	沖縄国際映画 祭実行委員会

資料:令和元年版那覇の市観光統計他

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、令和3年度と中止となるイベントが多かった。

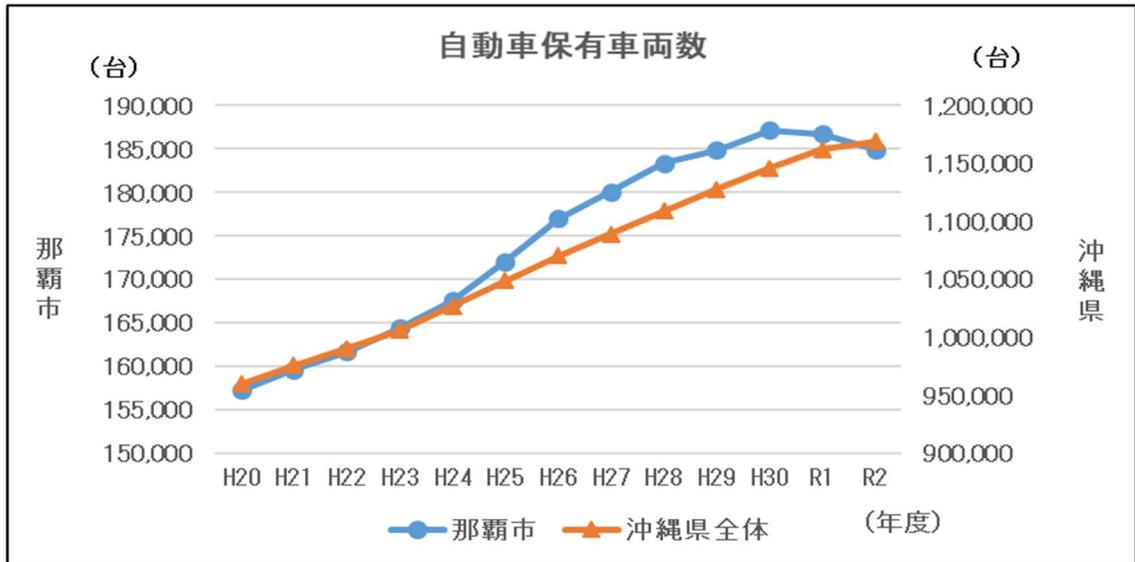
【p.48】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「(6) 交通

① 自動車保有状況

令和2年度の沖縄県内の自動車保有車両数は、約116万台であり年々増加している。本市においても年々増加していたが、令和2年度は、前年度に比べ約1,800台程度減となっており、保有台数は約18万4千台となっているが、平成26年度に比べ、約8000台率にして約5%増加している。」



資料：沖縄総合事務局陸運事務所業務概況

※自動車保有車両数については、令和元年度から、軽二輪車両数が市町村内訳において掲載されていないことから、本市の軽二輪車平均台数10,600台は変わらないものと仮定しR1・R2を算出した。

自動車保有台数

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
那覇市	157,210	159,604	161,686	164,403	167,529	172,002	176,940
沖縄県全体	959,318	975,536	990,052	1,005,451	1,026,431	1,048,713	1,070,118
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
那覇市	180,018	183,344	184,794	187,085	186,708	184,902	
沖縄県全体	1,088,509	1,108,393	1,127,623	1,145,535	1,161,515	1,168,544	

R1・R2について、軽二輪車の平均台数10,600台を加えて算出

「②道路交通量の状況

平成 27 年度の道路交通センサスによると、国際通りの交通量は 8,232 台であり、平成22年度に比べ約 1,600 台減少しており、混雑度はさらに緩和されている。しかしながら、依然として混雑度は1.0を超えており、さらなる交通環境の改善が必要となっている。」

■県道 39 号線(国際通り)の交通量及び混雑度の推移

平日昼間		H6年度	H9年度	H11年度	H17年度	H22年度	H27年度
松尾	12時間交通量(台)	14,603	10,140	12,729	10,361	9,796	8,232
	12時間混雑度	1.64	1.31	1.68	1.66	1.41	1.34

資料:国土交通省 全国道路・街路交通情勢調査(道路センサス)

混雑度の評価

- 1.0未満:昼間12時間を通して道路が混雑することなく円滑に走行できる状況
- 1.0~1.25:昼間12時間のうち混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時間)ある状況
- 1.25~1.75:ピーク時のみの混雑から日中に連続混雑が生ずる過渡的な状況
- 1.75~:日中に慢性的に混雑している状況

※道路センサス:5年おきに実施されるが、2020年は実施が延期となったため、2015年(H27)が最新情報。

【p.49】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「③レンタカーの状況

本市を訪れる観光客の交通手段は、依然として「レンタカー」が 33.9%と最も多い。」

■那覇市の観光における交通手段

単位: 人(上段)、%(下段)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	総計
路線バス	0	9	13	16	23	8	1	0	70
観光バス	1	6	7	15	13	20	8	0	70
一般タクシー	1	26	39	51	63	51	16	0	247
観光タクシー	0	2	3	5	3	4	3	0	20
モノレール	2	41	66	102	110	72	13	0	406
レンタカー	5	71	90	109	104	57	15	5	456
自家用車・社用車	2	2	5	7	10	8	4	0	38
自転車	0	1	2	2	1	1	0	0	7
その他	0	2	4	6	11	9	1	0	33
回答数	11	160	229	313	338	230	61	5	1,347
路線バス	0.0	5.7	5.4	5.3	6.6	3.4	2.4	0.0	5.2
観光バス	13.0	3.9	3.1	4.7	4.0	8.8	13.1	0.0	5.2
一般タクシー	13.0	16.5	17.2	16.3	18.8	22.3	26.2	0.0	18.3
観光タクシー	0.1	1.2	1.4	1.7	1.0	1.7	4.8	0.0	1.5
モノレール	19.5	25.6	28.8	32.6	32.5	31.1	21.4	0.0	30.1
レンタカー	47.8	44.5	39.1	34.8	30.7	24.8	25.0	100.0	33.9
自家用車・社用車	6.5	1.2	2.3	2.2	2.9	3.4	6.0	0.0	2.8
自転車	0.0	0.4	0.9	0.6	0.2	0.6	0.0	0.0	0.5
その他	0.0	1.2	1.7	1.8	3.4	4.0	1.2	0.0	2.4
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料: 令和元年度版那覇市の観光統計

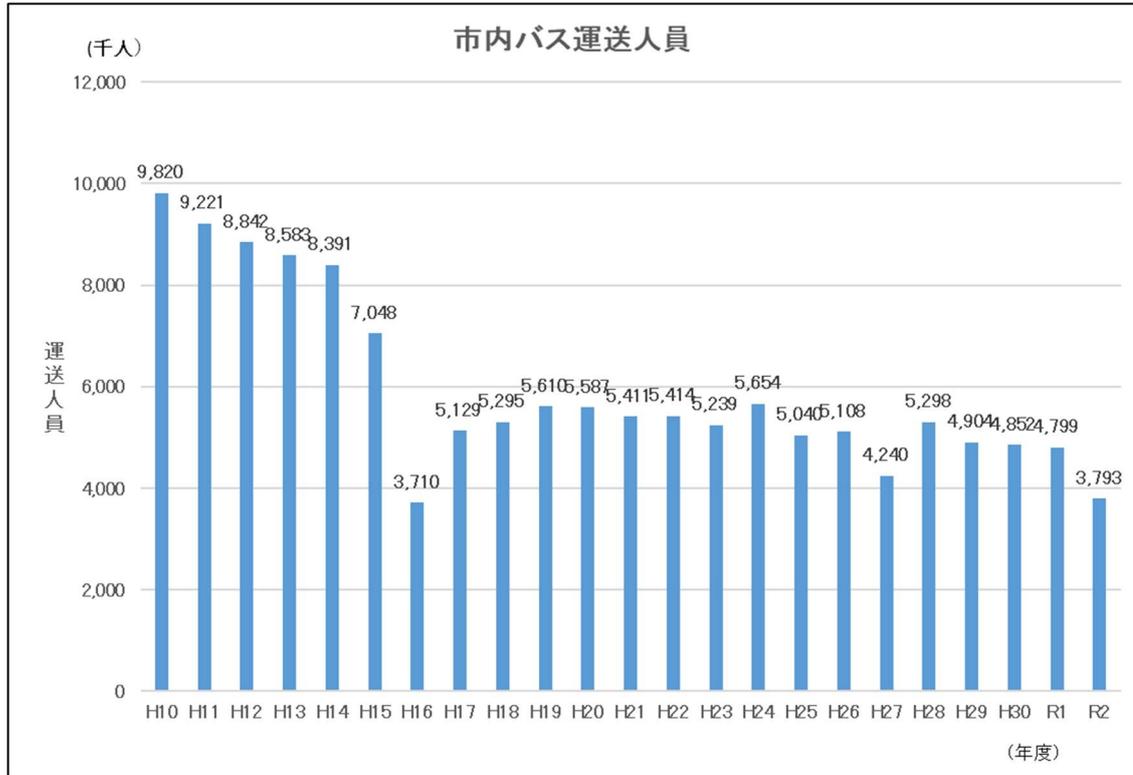
※回答: 複数回答 人数は複数回答のため回答比率を回答者 1,347 名で割り戻し算出

【p.50】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「⑤バス路線一の利用者動向

市内バスの利用者は、平成 24 年度以降減少傾向にあり、平成 28 年度に 5,298 千人と若干回復したが、再び減少傾向にある。」



資料:那覇市統計書(資料提供:那覇バス株式会社)

※令和元年度と令和2年度では、輸送人員が約100万人減少しているが、その要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限(通勤・通学)や交通手段の変更によるものと推測される。

バスの運送人員

運送人員 (千人)	人	運送人員 (千人)	人	
H10	9,820	9,819,716		
H11	9,221	9,220,977		
H12	8,842	8,841,730		
H13	8,583	8,582,731		
H14	8,391	8,391,261		
H15	7,048	7,047,519		
H16	3,710	3,710,363		
H17	5,129	5,128,696		
H18	5,295	5,295,228		
H19	5,610	5,609,855		
H20	5,587	5,587,253		
H21	5,411	5,410,777		
		H22	5,414	5,414,132
		H23	5,239	5,239,471
		H24	5,654	5,653,514
		H25	5,040	5,040,491
		H26	5,108	5,107,919
		H27	4,240	4,240,476
		H28	5,298	5,298,143
		H29	4,904	4,903,743
		H30	4,852	4,852,080
		R1	4,799	4,799,383
		R2	3,793	3,792,511

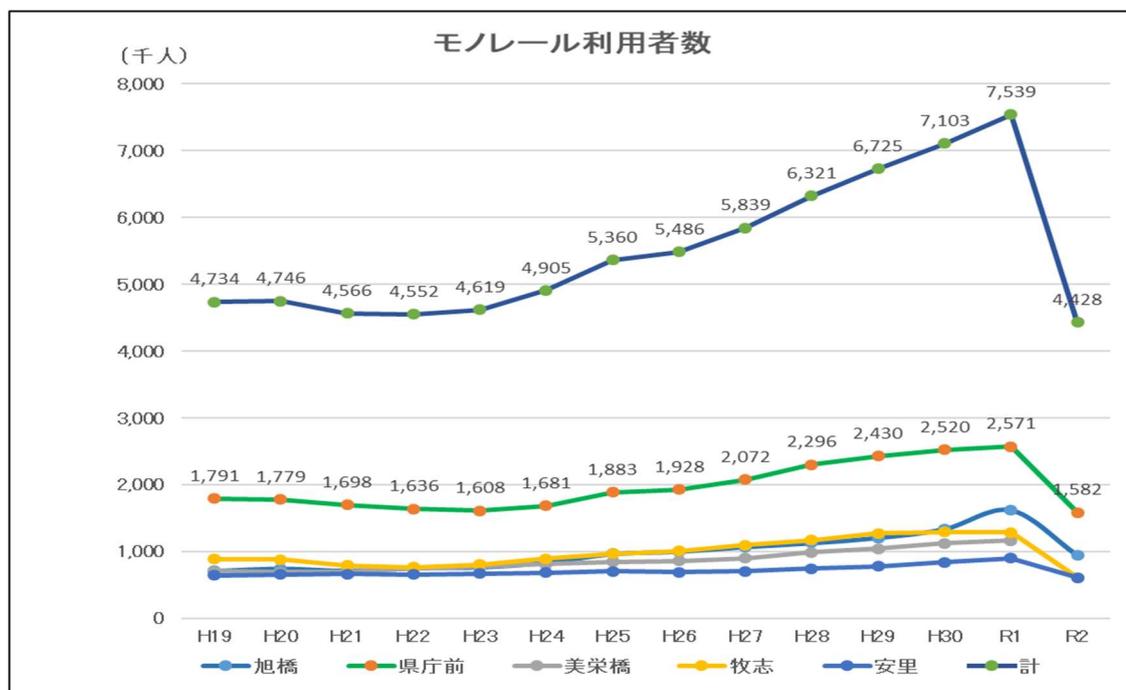
【p51】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「⑥モノレールの利用者状況

令和元年度の中心市街地内の 5 つのモノレール駅の利用者数の合計は、7,539 千人となっており、平成 26 年度の 5,186 千人と比べると、37.2%の増加となっている。

モノレールは、令和元年 10 月に石嶺駅、経塚駅、浦添市前田駅、てだこ浦西駅までの 4 駅、4.1 キロメートル延伸されており、令和 5 年度には車両の 3 両運行が予定されている。」



資料:那覇市統計書(資料提供:沖縄都市モノレール株式会社)

※令和元年度と令和 2 年度では、利用者数が約 300 万人減少しているが、その要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少や、行動制限(通勤・通学)や交通手段の変更によるものと推測される。

モノレール利用者数

	旭橋	県庁前	美栄橋	牧志	安里	計	計	計
H19	710,710	1,791,492	702,640	886,921	641,840	4,733,603	4,734,000	4,734
H20	745,631	1,778,679	688,976	878,109	655,040	4,746,435	4,746,000	4,746
H21	714,237	1,697,808	699,294	792,308	662,498	4,566,145	4,566,000	4,566
H22	755,281	1,636,450	747,110	761,346	652,235	4,552,422	4,552,000	4,552
H23	765,060	1,607,974	772,066	803,087	670,433	4,618,620	4,619,000	4,619
H24	835,999	1,681,486	812,846	893,939	680,728	4,904,998	4,905,000	4,905
H25	964,713	1,882,768	847,391	963,508	701,955	5,360,335	5,360,000	5,360
H26	1,000,612	1,928,416	859,560	1,009,530	688,282	5,486,400	5,486,000	5,486
H27	1,069,228	2,072,341	896,151	1,094,512	706,350	5,838,582	5,839,000	5,839
H28	1,127,421	2,295,972	984,348	1,170,669	742,847	6,321,257	6,321,000	6,321
H29	1,206,427	2,430,435	1,039,467	1,268,731	779,689	6,724,749	6,725,000	6,725
H30	1,335,955	2,519,870	1,123,260	1,287,684	836,188	7,102,957	7,103,000	7,103
R1	1,617,658	2,570,522	1,163,503	1,285,871	901,906	7,539,460	7,539,000	7,539
R2	946,657	1,581,726	679,699	611,426	608,750	4,428,258	4,428,000	4,428

パレット市民劇場・市民ギャラリー・那覇市ぶんかテンプス館利用者数			
年度	パレット市民劇場	市民ギャラリー	那覇市ぶんかテンプス館
H19	67,894	106,233	70,505
H20	63,949	98,269	70,146
H21	55,724	102,517	77,599
H22	56,625	99,211	69,759
H23	57,249	91,815	81,315
H24	46,779	81,789	80,612
H25	51,487	83,266	69,627
H26	53,093	81,541	77,147
H27	60,270	87,569	80,792
H28	57,203	81,494	68,271
H29	57,631	69,477	76,960
H30	50,624	67,586	57,571
令和1	47,214	67,121	63,231
令和2	8,830	15,450	16,508

※令和2年度の急激な落ち込みは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと推測される。

【p.53】

○表を次のようにあらためる。

■主要な公共施設

名 称	所在地
那覇市役所	泉崎 1-1-1
沖縄県庁	泉崎 1-2-2
沖縄県警察本部	泉崎 1-2-2

■文化・教養施設

名 称	所在地
パレット市民劇場	久茂地 1-1-1
牧志駅前ほしぞら図書館	安里 2-1-1
牧志駅前ほしぞら公民館	〃
那覇市ぶんかテンプス館	牧志 3-2-10
那覇市伝統工芸館	〃
那覇文化芸術劇場 なはーと	久茂地 3-26-27

■博物館等

名 称	所在地
市民ギャラリー	久茂地 1-1-1
那覇市歴史博物館	〃
那覇市立壺屋焼物博物館	壺屋 1-9-2

■公設市場

名 称	所在地
(仮設) 那覇市第一牧志公設市場	松尾 2-7-10

■学校施設

学校名	所在地
壺屋小学校	牧志 3-14-12
神原小学校	樋川 2-7-1
開南小学校	泉崎 1-1-6
神原中学校	樋川 2-8-1
那覇高校	松尾 1-21-44

※那覇市にぎわい広場については、第一牧志公設市場の建替えに伴う代替施設として使用している。

※新第一牧志公設市場については、令和4年度末の供用開始を予定している。

※なは商人塾については、牧志公設市場（衣料部・雑貨部）の建物譲渡に伴い、R4.4.1をもって廃止となった。

【p.54】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「(8) 市街地整備・都市環境

① 都市基盤整備状況

令和2年度には、モノレール旭橋駅周辺、令和4年度には農連市場地区周辺防災街区整備事業が完了予定である。また、令和3年度から「那覇市密集住宅地再生方針」の検討が開始されている。

■ 中心市街地に関わる市街地整備状況

事業名	地区名	面積 (ha)	施行年度	施行者	備考
土地区画整理事業	美栄橋	11.8	S28～S46	那覇市	
土地区画整理事業	那覇第一	222.9	S30～S46	那覇市	中心市街地一部
土地区画整理事業	ハーバービュー	7.7	S32～S40	組合	
土地区画整理事業	壺川	37.3	S58～R1	那覇市	
市街地再開発事業	久茂地一丁目	1.8	S61～H2	那覇市	パレットくもじ
市街地再開発事業	牧志・安里	2.3	H19～H24	組合	さいおんスクエア
市街地再開発事業	モノレール旭橋駅周辺	4.5	H17～R2	再開発株式会社	R2完了
防災街区整備事業	農連市場	3.1	H26～R4	組合	R4完了予定
市街地再開発事業等	牧志一丁目3番街区	0.45		準備組合	構想

資料: 那覇市

【p.55】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「②公園・緑地等次の表の下線部を改める。」

■ 中心市街地の公園・緑地一覧

	公園	所在地	種別	共用開始面積 (ha)
①	牧志公園	牧志2丁目	街区公園	0.2
②	美栄橋公園	久茂地3丁目	街区公園	0.07
③	泉崎公園	泉崎1丁目	街区公園	0.02
④	牧志北公園	牧志2丁目	街区公園	0.04
⑤	牧志南公園	牧志2丁目	街区公園	(予定)
⑥	十貫瀬公園	牧志1丁目	街区公園	(予定)
⑦	希望ヶ丘公園	牧志3丁目	近隣公園	0.76
⑧	松尾公園	松尾2丁目	近隣公園	1.11
⑨	緑ヶ丘公園	牧志1丁目	地区公園	1.84
中心市街地の公園・緑地面積合計				4.04

資料: 令和3年版那覇市統計書

■ 那覇市における中心市街地の公園緑地の割合

	那覇市	中心市街地	全市に対して中心市街地が占める割合
公園総数	175	9	5.2%
公園総面積 (ha)	197.89	4.04	1.9%
令和3年人口 (人)	318,510	19,965	6.6%
1人あたりの公園面積 (㎡)	6.2	2.0	-

資料: 令和3年版那覇市統計書、住民基本台帳

※[参考]

住民1人あたりの都市公園の敷地面積の標準について

都市公園法施行令: 市町村の全区域及び市街地における住民1人あたりの都市公園面積の標準について、それぞれ「10 ㎡以上」、「5 ㎡以上」を参酌すべき基準として定めている。

那覇市公園条例 : 本市の区域内の公園の住民1人あたりの敷地面積の標準は、10 ㎡以上とする。

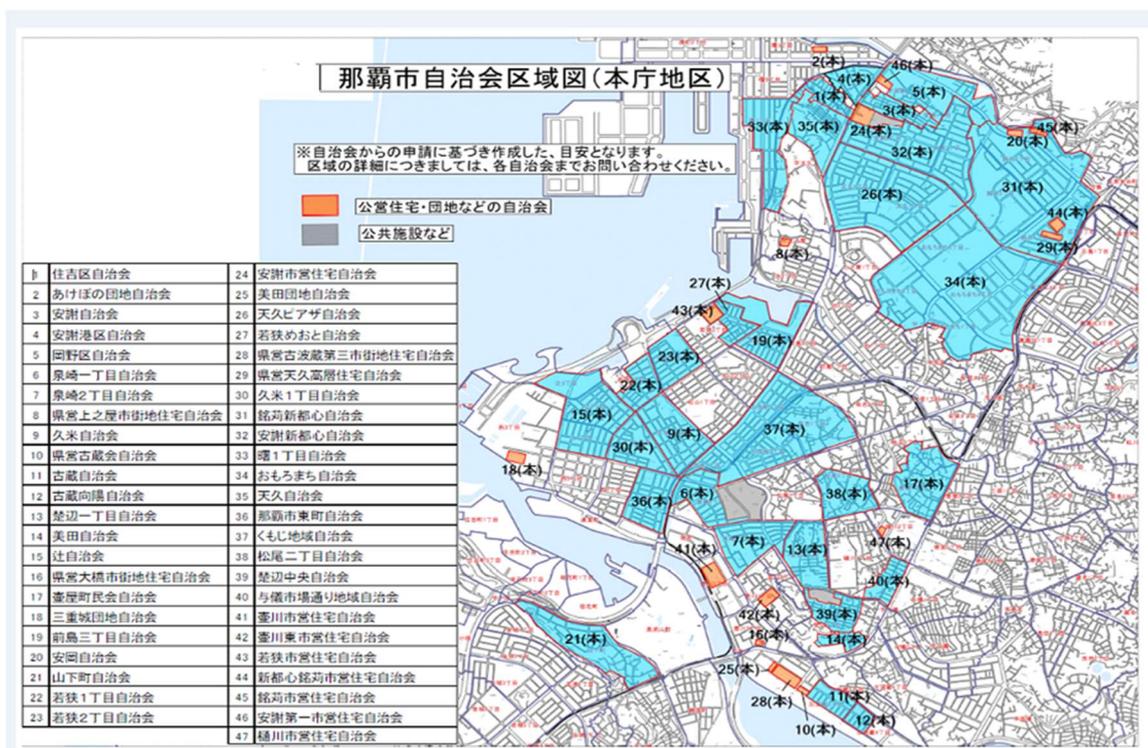
【p.57】

○文章ならびにグラフを次のようにあらためる。

「(9) 地域コミュニティ等

① 自治会加入状況等

中心市街地内では、5つの自治会が活動している(「安里一区自治会」「安里二区自治会」は、重なっている区域が一部あるため、カウントしていない)。令和4年5月現在5つの自治会の加入世帯数計は617世帯であり、本市全体の加入世帯 23,963世帯の2.6%となっている。本市全体の自治会加入率は15.2%であるのに対して、中心市街地の加入率は、5.3%とさらに低くなっている。」



■ 自治会加入世帯数

自治会名	加入世帯	比率	住民登録世帯数	加入率
泉崎1丁目自治会	97	0.4%	—	—
壺屋町民自治会	227	0.9%	—	—
くもじ地域自治会	147	0.6%	—	—
松尾二丁目自治会	79	0.3%	—	—
樋川市営住宅自治会	67	0.3%	—	—
中心市街地計	617	2.6%	11,691	5.3%
中心市街地以外	23,346	97.4%	145,521	16.0%
那覇市計	23,963	100.0%	157,212	15.2%

資料: 那覇市自治会情報(令和4年5月現在)

※中心市街地内で活動していた、共栄自治会が平成30年3月31日、西松尾自治会が令和2年9月30日をもってそれぞれ解散している。一方、新たに樋川市営住宅自治会が令和2年8月に発足している。

■自治会加入世帯数

自治会名	加入世帯	比率	住民登録世帯数	加入率
泉崎1丁目自治会	92	0.4%	-	-
壺屋町民自治会	233	1.0%	-	-
くもじ地域自治会	132	0.5%	-	-
松尾二丁目自治会	82	0.3%	-	-
中心市街地計	539	2.2%	11,545	4.7%
中心市街地以外	23,660	97.8%	144,261	16.4%
那覇市計	24,199	100.00%	155,806	15.5%

資料：那覇市自治会情報（令和3年5月1日現在）

■自治会加入世帯数

自治会名	加入世帯	比率	住民登録世帯数	加入率
泉崎1丁目自治会	129	0.5%	-	-
壺屋町民自治会	236	1.0%	-	-
くもじ地域自治会	131	0.5%	-	-
松尾二丁目自治会	70	0.3%	-	-
中心市街地計	566	2.3%	11,445	4.9%
中心市街地以外	24,215	97.7%	143,911	16.8%
那覇市計	24,781	100.00%	155,356	16.0%

資料：那覇市自治会情報（令和2年5月1日現在）

■自治会加入世帯数

自治会名	加入世帯	比率	住民登録世帯数	加入率
泉崎1丁目自治会	129	0.5%	-	-
壺屋町民自治会	240	1.0%	-	-
西松尾自治会	247	1.0%	-	-
くもじ地域自治会	134	0.5%	-	-
松尾二丁目自治会	79	0.3%	-	-
中心市街地計	829	3.3%	11,190	7.4%
中心市街地以外	24,300	96.7%	141,951	17.1%
那覇市計	25,129	100.00%	153,141	16.4%

資料：那覇市自治会情報（令和元年5月1日現在）

■自治会加入世帯数

自治会名	加入世帯	比率	住民登録世帯数	加入率
泉崎1丁目自治会	116	0.4%	-	-
壺屋町民自治会	243	1.0%	-	-
西松尾自治会	322	1.3%	-	-
くもじ地域自治会	105	0.4%	-	-
松尾二丁目自治会	81	0.3%	-	-
中心市街地計	867	3.4%	11,228	7.7%
中心市街地以外	24,361	96.6%	139,940	17.4%
那覇市計	25,228	100.00%	151,168	16.7%

資料：那覇市自治会情報（H30年5月1日現在）

■自治会加入世帯数

自治会名	加入世帯	比率	住民登録世帯数	加入率
泉崎1丁目自治会	116	0.4%	-	-
共栄自治会	26	0.1%	-	-
壺屋町民自治会	245	1.0%	-	-
西松尾自治会	325	1.3%	-	-
くもじ地域自治会	109	0.4%	-	-
松尾二丁目自治会	84	0.3%	-	-
中心市街地計	905	3.5%	11,161	8.1%
中心市街地以外	24,952	96.5%	138,562	18.0%
那覇市計	25,857	100.00%	149,723	17.3%

資料：那覇市自治会情報（H29年5月1日現在）

【p.71 のあとに挿入】

○(3)として次を加える。

(3)店舗の状況と意見～まち歩き基本構想(令和3年3月)「調査編」より～

※調査時期：令和2年12月、配布数594、回収数178。

- ・業態（複数回答可）は「物販店」（93.1%）が最も多く、次いで「飲食店」（51.1%）で、飲食と物販店を兼ねている店舗の割合が多い。物販店では「お土産店」の割合が多く、店舗では「カフェ・軽食」が多い。
- ・営業年数は「1年以上5年未満」（24.3%）が多いが、30年以上の店舗も3割程度（28.6%）。
- ・営業時間は9時から11時の時間帯に開店し、17時から20時に閉店する店舗が多い（18時以降営業店舗は5割、20時以降は3割以下）。
- ・第一牧志公設市場と第一牧志公設市場以外の中心商店街店舗との取引関係は7割以上が無いと回答（「以前はあったが現在は無い」（6.8%）、「まったく無い」（66.4%））。
- ・コロナ禍以前の利用客の属性は、主に県内客（5割以上）と回答した店舗は72件（40.4%）、主に県外客（5割以上）と回答した店舗は31件（17.4%）、主に海外客（5割以上）と回答した店舗は3件（1.7%）だったが、現在は主に県内客（5割以上）と回答する店舗の割合が増加。
- ・今後増やしていきたい利用客の属性は、「地元客」（33.7%）が最も多く、特に飲食店では回答の割合が高い（39.3%）。
- ・現在の中心商店街の回遊は不十分と7割程度の店舗が回答した。コロナ禍以前でも、3割程度の店舗が不十分と回答した。
- ・中心商店街の回遊性向上にメリットがあると8割以上の店舗が回答。
- ・中心商店街の回遊性向上のために、8割程度の店舗が第一牧志公設市場と中心商店街の連携が必要と回答した。
- ・連携促進の取り組みとして、「第一牧志公設市場を基点としたまち歩きルートづくり」、「第一牧志公設市場と中心商店街が一体となったホームページ・SNS等の情報発信」を回答する割合が高い。
- ・回遊性向上の取り組みとして「地元・県内向けのイベントの開催」、「中心商店街のブランド・情報発信の強化」を回答する割合が高い。」

【p.71 のあとに挿入②】

○(4)として次を加える。

(4)通り会からの声～治安事案の報知(令和3年度)～

○コロナ禍により人通りが激減し、休業・閉店が増加する中心市街地のうち、中心商店街においては、酒類提供店舗の増加に比例し騒音などの苦情が寄せられるようになった。

○これを受けて、なはまち振興課は令和3年度から治安事案連絡票の運用を開始している。以下はその集計。

○アーケード街は車両の侵入が禁止されているが、夜間に営業している居酒屋に客や従業員の車両が進入したり(違法駐車)、酔客の話し声(アーケード内では音が響き騒音となる)などが多い。「その他」には酔っ払い、路上飲み、ゴミのような集積物など、多様な内容が含まれる。

「治安事案連絡票」からの集計 (R4.3.31まで)

	場所(通り)	落書き	はみ出し	不審者	盗難	ケンカ	不法投棄	違法駐車	騒音	その他	合計
1	国際通り	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
2	サンライズなは	2	2	2	0	2	2	4	4	13	31
3	沖映通り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	平和通り	1	1	13	0	1	4	6	21	23	70
5	栄町市場	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
6	市場本通り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	市場中央通り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	新天地市場本通り	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
9	太平通り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	むつみ橋通り	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
11	浮島通り	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
12	壺屋やちむん通り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	パラソル通り	3	1	2	1	2	3	0	4	10	26
14	その他	0	1	2	0	0	0	1	1	8	13
	合計	7	5	19	1	5	10	11	31	57	146

*14 その他の内容 場所：八軒通り(6)、えびす通り(2)、桜坂(1)など

迷惑行為：酔っ払い、立ちション、嘔吐物、猫の糞尿、ポイ捨てなど

【p.73～74】

○「(2) 中心市街地が抱える課題(趨勢要件)」を下線部のように改める。

(2) 中心市街地が抱える課題(趨勢要件)

① 建物の老朽化と狭隘道路

- 中心市街地には、30 年以上の建物があり建物の老朽化が進んでいる。その背景には、幅員4m未満の狭隘道路が多く現状のままでは建物更新ができないことなどが挙げられる。
- さらに、中心商店街においては、土地所有者、建物所有者、店舗使用者の権利関係が錯綜していることも建物更新が進まない要因として課題となっている。
- 通り会の組織力の維持、後継者の課題、老朽化したアーケードへの補助など、商店街の持続可能性に影響する課題が顕在化している。

② 中心市街地の地価は下落傾向

- 中心市街地の地価は、平成 15 年から 10 年間で概ね 1 割程度下落していたが、平成 29 年以降、上昇傾向に転じている。しかしながら、令和3年では上昇幅が小さくなっている。

③ 中心市街地の人口は減少傾向

- 中心市街地の人口は、平成 15 年から平成 26 年にかけて 4.3%減少している。その状況は令和 3 年までにおいても大きな変化はなく、約 2 万人前後で推移している。
- 年齢別人口でみると、特に子育て世代を中心とした生産年齢人口が減少しており、子どもたちが安心して遊べる場所の確保等、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが課題となっている。

④ 少子高齢化が進む人口構成

- 中心市街地の令和 3 年の年齢別人口構成は、本市全体と比べて、老年人口が 4.3 ポイント高く、逆に年少人口が 3.2 ポイント低くなっている。なお、中心市街地の老年人口の割合は年々高くなっており、平成 26 年から令和 3 年にかけて 3.1 ポイントの増となっており、全体の 28.2%を占めている。
- 少子高齢化が進展する中、自動車に頼らない交通環境の整備や休憩所・トイレ等のアメニティが充実した、歩いて楽しい歩行空間の創出などが課題となっている。

⑤ 中心市街地の事業所数、従業者数は減少

- 中心市街地の事業所数は、平成 21 年から平成 24 年にかけて 14.6%減少しており、平成 24 年から平成 28 年にかけては、さらに 2.5%の減少となっている。
- 従業者数は、平成 21 年から平成 24 年にかけて 17.5%減少しており、平成 24 年から平成 28 年にかけては、0.1%の減少となっている。

⑥ 中心市街地の商業は衰退傾向

- 中心市街地の小売販売額は、平成 14 年から平成 26 年にかけて 36.7%減少している。
- 本市全体に占めるシェアは、平成 14 年から平成 26 年にかけて 25.2 ポイント低下している。
この間、那覇市全体の小売販売額は 4.7%増えており、その要因としては、新都心地域などとの影響があるものと思われる。
- 中心市街地では、アーケードや水上店舗等の民間商業施設の老朽化や空き店舗・空き地等の利活用、自動二輪車の違法駐車や道路へのはみ出し看板・商品棚、強引な客引き行為などの迷惑行為も課題となっている。

⑦ 地元市民の中心商店街離れ

- 中心商店街の歩行者通行量は、平成 8 年から平成 26 年にかけて 31.8%減少しており、中には 50%以上減少している通りもある。
- 市民アンケートの結果を見ても、那覇市民の約半数が中心市街地商店街にほとんど足を運んでおらず、観光客中心になりつつある通りに対して懸念が示されている。

⑧ 道路の混雑

- 中心市街地の道路の混雑度は、平成 22 年度は 1.41 から、幾分緩和され、平成 27 年度には 1.34(県道 39 号線松尾)となっているものの、まだ 1.0 を越えており混雑している。
- 市民アンケートの結果からも、中心市街地の改善すべき課題として、「交通渋滞」を挙げる市民が最も多くなっている。

⑨ 中心市街地の公共公益施設の利用者は減少傾向

- 「パレット市民劇場」や「那覇市民ギャラリー」の利用者数は減少傾向にある。中心市街地を活性化する上でもその利用者増の取り組みが課題となっている。
- 令和 3 年 10 月には久茂地地域において、「那覇文化芸術劇場なは一と」の開館されており多くの来街者が訪れることが期待される。

⑩ 防災上の懸念

- 中心市街地には、未だ老朽化した住宅・建物等が密集し、浸水の恐れのある地区もあることから災害時の被害拡大が懸念される。
- アーケードや水上店舗等の民間商業施設や公設市場などは、観光客を始め多くの来街者が訪れることから改善が求められている。

⑪ 地域コミュニティの希薄化の懸念

- 本市全体の自治会加入率が 15.2%であるのに対して、中心市街地の加入率は 5.3%と低くなっている。
- 中心市街地の課題に対応するために、小学校区まちづくり協議会などの地域コミュニティの充実が必要である。

⑫周辺商環境の変化

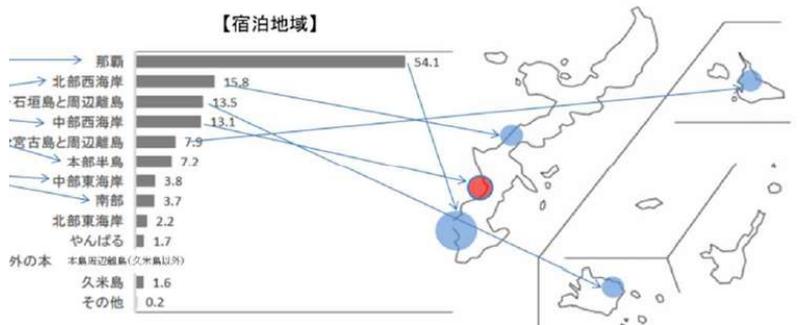
○本市周辺の商環境に変化が生じており、本市への影響が懸念される。

○大型ショッピングモールについては、令和元年に本市の1次商圏である浦添市にPARCOCITYが、平成27年に影響圏である北中城村には、イオンモール沖縄ライカムがオープンした。

○北谷町には、遊ぶ・観る・食べる施設を備えたアメリカンビレッジの整備が進んでおり、沖縄市には、令和3年にスポーツコンベンション機能を有する「沖縄アリーナ」の供用が開始された。

※1次商圏及び影響圏：沖縄県買物動向調査における設定

○北谷トランジットセンターの開設式。MaaSも取り入れ、那覇空港と北谷町を直結し促進を図る。(R3.11.6、沖縄タイムス)



○宿泊地として存在感を増す北谷エリア。北部への途中という地の利もある。(那覇市経営戦略室レターNo.28より)

⑬新たな可能性

○令和3年に那覇文化芸術劇場「なは一と」が完成。文化芸術の拠点としての役割に加え、周遊の拠点や都市型MICEの誘致拠点の一つとして経済的波及効果も期待されている。

○狭隘な中心市街地において貴重な活用可能空間であるポケットパークについては、令和4年3月にパレットくもじ前に大屋根が設置されるとともに、ぶんかテンプス館前についても活用が検討されるなど、民間による積極的活用が進みつつある。

○「那覇市都市再生整備計画」(R3～R7)により中心商店街の一部エリアでは、路上の合法的店舗利用が可能となり、通り会による運用が期待されている。



パレット前の大屋根のイメージ
(久茂地都市開発株式会社資料より)

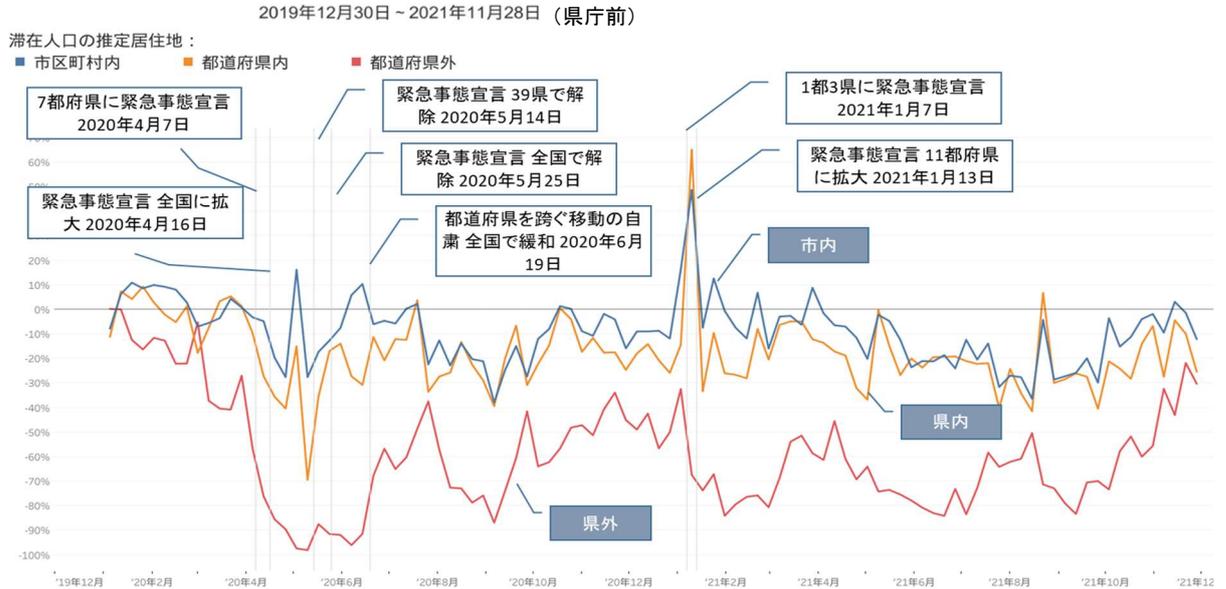
※MaaS:「Mobility as a Service」の略。複数の交通機関・移動手段の中から最適な組み合わせを即時呼び出し、一括して検索・予約・決済できる移動サービスのこと。

⑭ 「観光客依存」の課題の顕在化

○令和2年2月以降の「コロナ禍」により、沖縄県も甚大な影響を受ける。

○令和2年から3年にかけて、国際通り等の人流は4割^{※1}となり、県外者の通行量は一時100%減となった(RESAS^{※2}による県庁前の人流状況)。

沖縄県の滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

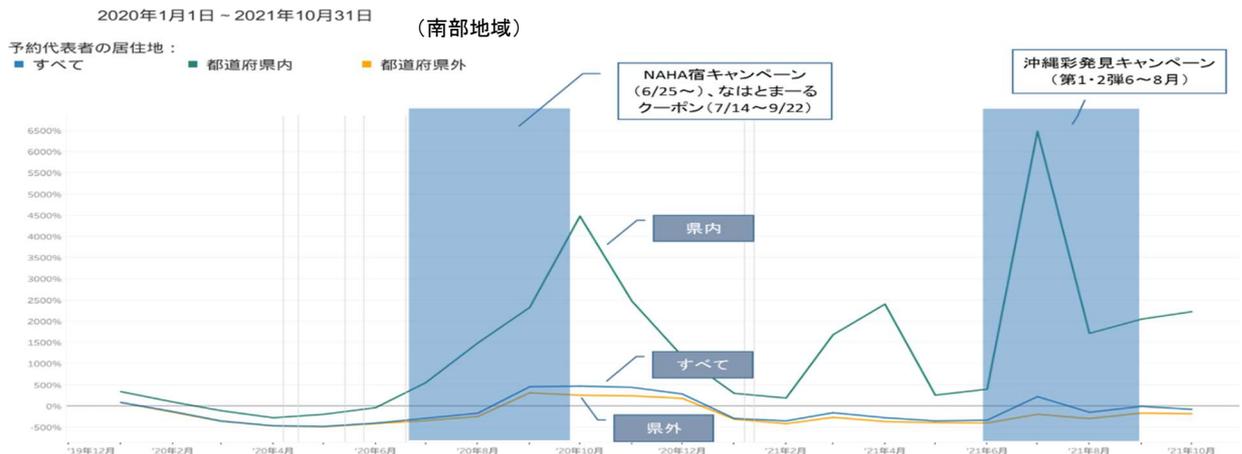


○ホテルの宿泊者も激減。(RESASによる南部地域の宿泊状況。)

○市内居住者による宿泊が顕著に立ち上がっているが、本市が「とまえるクーポン」を実施した時期である。施策の効果は市内宿泊業者からも聞かれた。

○併せて「Go to キャンペーン」が続き、県外客も前年を超えている。

沖縄県の予約代表者の居住地ごとの宿泊者数 - 予約代表者の居住地ごとの2019年同月比の推移



○コロナ禍は、課題とされてきた「観光客中心の業態」の脆弱性を顕在化させた。

○これに対し、Eコマースや飲食店の宅配サービスなどの業態転換の試みもあるが、もとの業績を回復するまではいたっていないとみられる。

○顧客を「観光客から市民」に転換することは容易でないことが確認できる。

※1 中心商店街通行量調査(令和3年2月)より。 ※2 RESAS(地域経済分析システム)

【p79】

○文章に次の文書を加える。

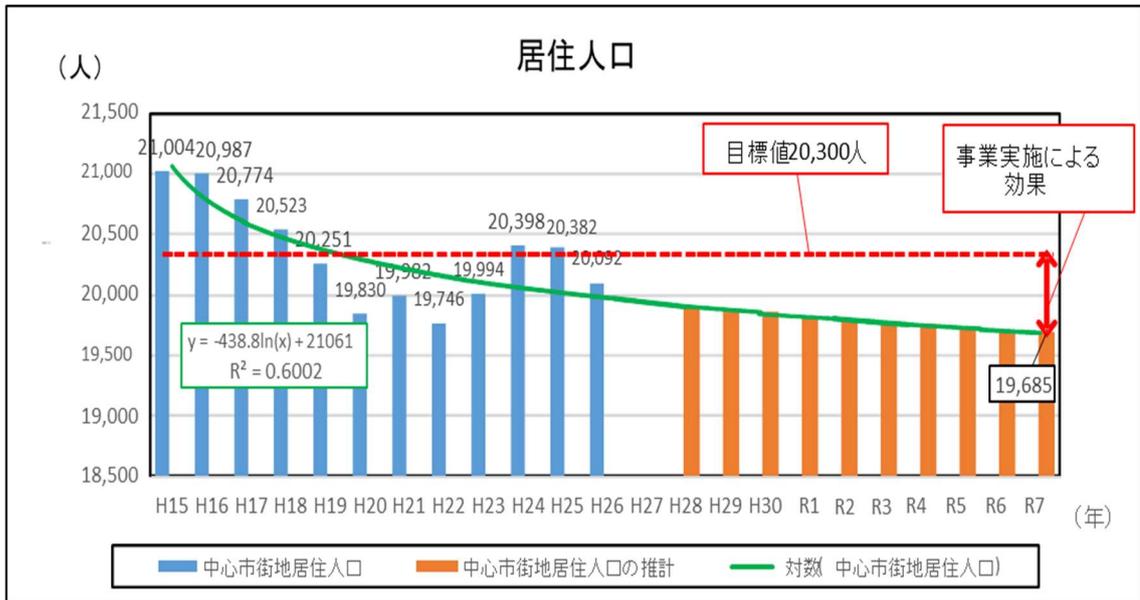
「那覇市都市計画マスタープラン」は、令和2年3月改訂に改訂されており、プランにおける中心市街地が位置する那覇中央地域についての将来像として以下のように示されている。

多様な都市機能が集積する複合的な土地利用を図り、中心拠点としての機能強化を進めるとともに、様々な移動手段の利用環境の向上・充実や快適な歩行空間の創出を図ることで、歩きたくなるまちづくりを推進します。また、利便性の高い居心地の良いエリアづくりとあわせた住宅の中高層化の誘導により、快適な都市型住宅の形成とまちなか居住を進めます。国際通りからマチグラーへと広がる沖縄独特の雰囲気をかきた回遊性のある観光・商業地の形成を進め、「出会い」「ふれあい」のあるまちの形成を進める。

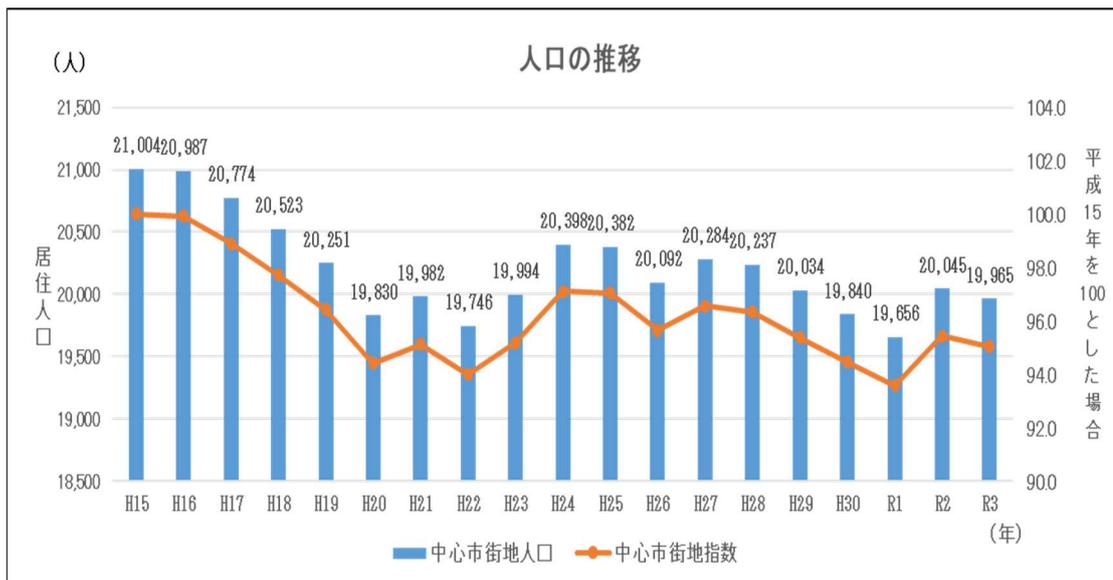
【p82】

○人口の推移を示すグラフを加える。

※人口推計



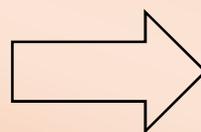
※人口実績値



目標1. 暮らしやすいまち

【数値目標】 居住人口

現況値
20,092人
(H26年)



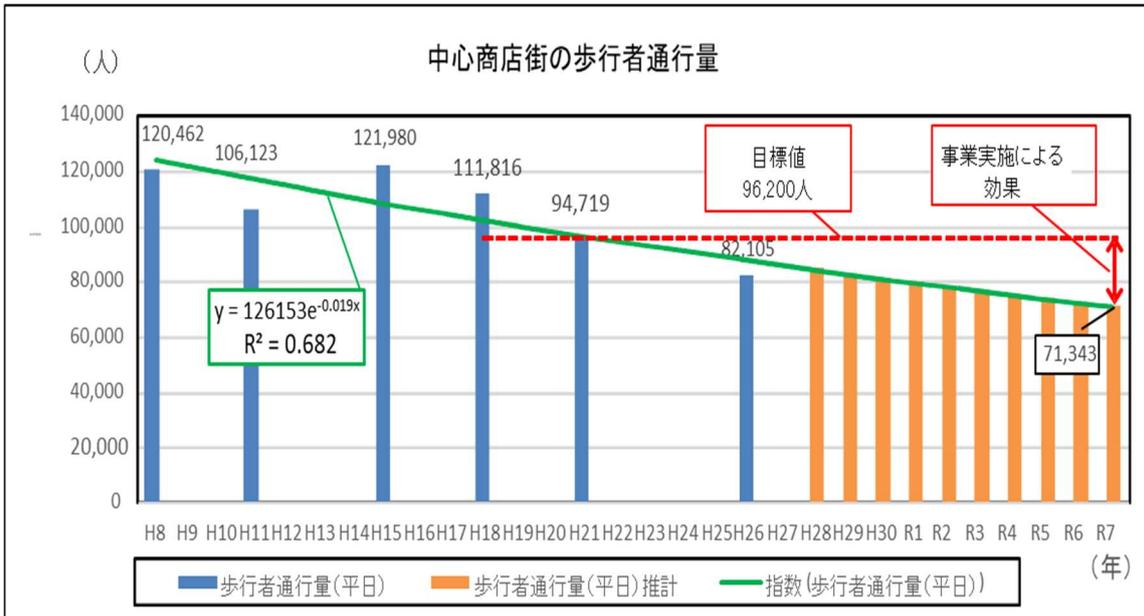
目標値
20,300人
(R7年)

(1.0%増加)

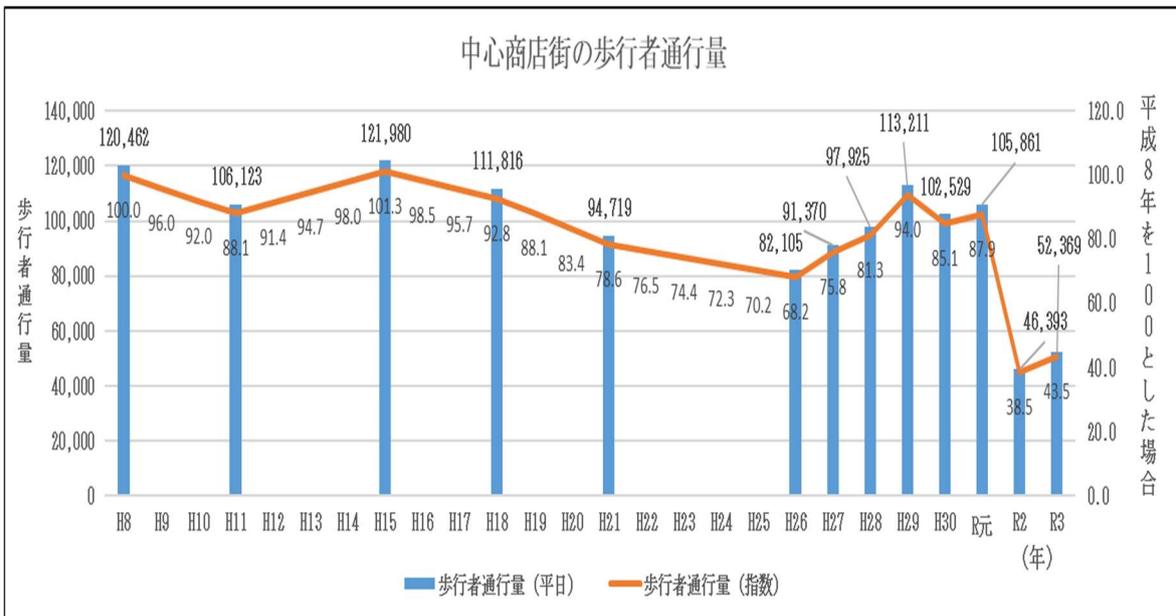
【p83】

○推移を示すグラフを加える。

※歩行者通行量推計値



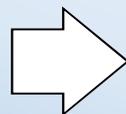
※歩行者通行量実績値



目標2. 賑わいを楽しむまち

【数値目標】歩行者通行量（平日）

現況値
82,105人/日
(H26年)



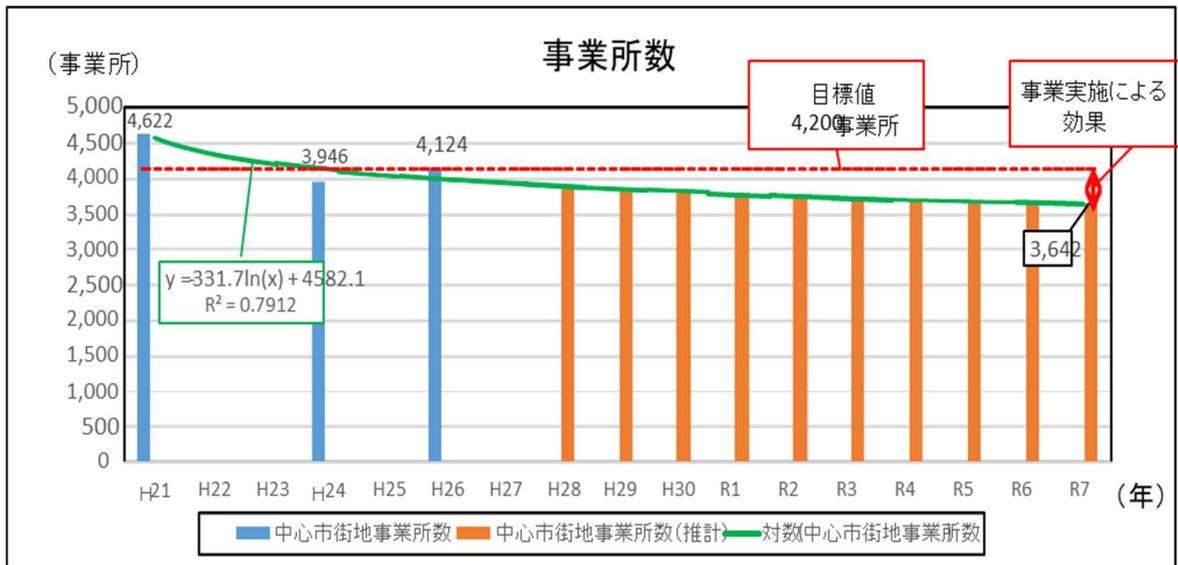
目標値
96,200人/日
(R7年)

(約17.2%増加)

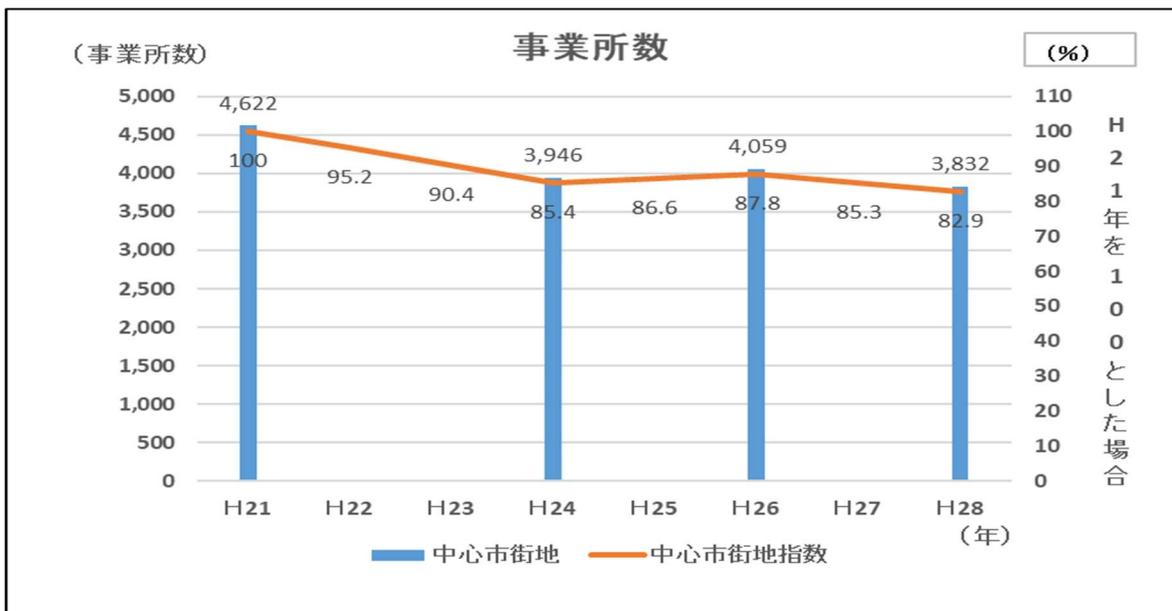
【p84】

○推移を示すグラフを加える。

※事業所数推計値



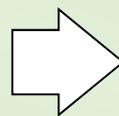
※事業所数実績値



目標3. 経済活動が活発なまち

【数値目標】 事業所数

現況値
4,124 事業所
(H26年)



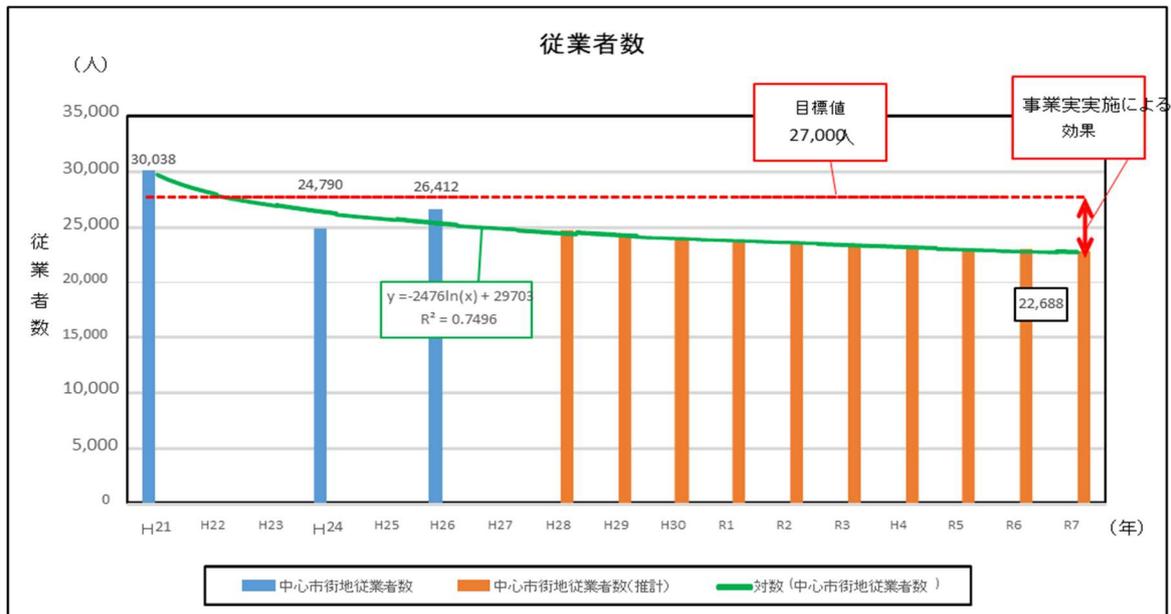
目標値
4,200 事業所
(R7年)

(約1.8増加)

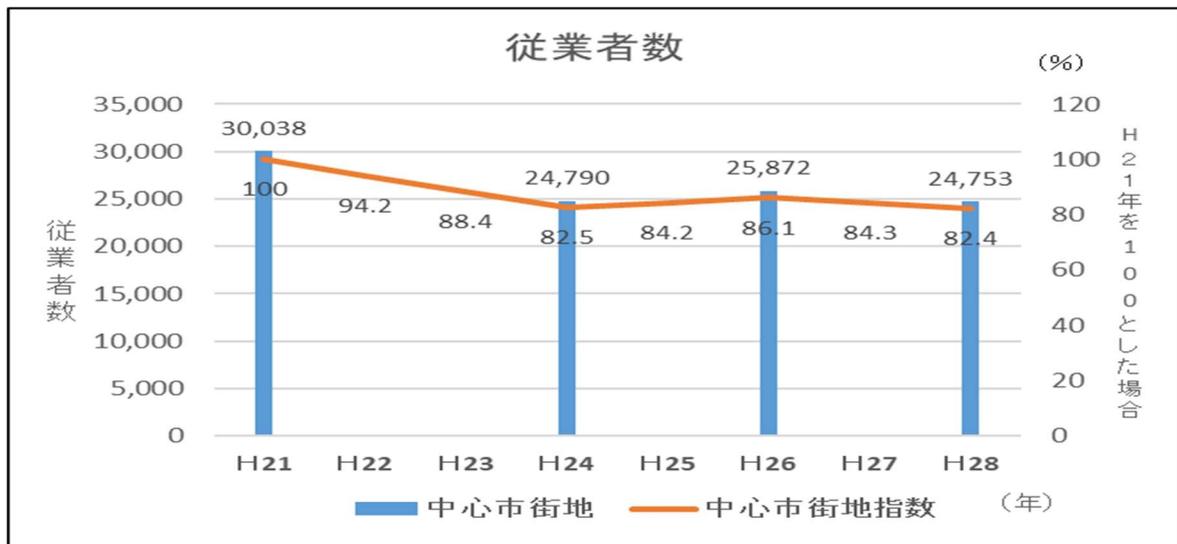
【p85】

○推移を示すグラフを加える。

※従業者数推計



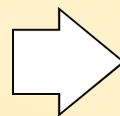
※従業員数実績



目標3. 経済活動が活発なまち

【数値目標】従業員数

現況値
26,412人
(H26年)



目標値
27,000人
(R7年)

(約2.2%増加)

【p86】

○施策表に下線部を加える

柱（分野）	施策
1 市街地の整備改善	①土地利用の複合化の考え方に基づく市街地の整備改善 ②歴史的経緯を踏まえながら、安全・安心・快適を実現する基盤整備 ③民間活力を活かした市街地整備の促進 ④市街地整備施策と連携した環境共生の推進 ⑤規制緩和制度等を有効に活用した市街地の整備
2 商業の活性化	①市民・県民・観光客のバランスのとれた商業の再生 ②インバウンドの受入体制の整備による、おもてなし力の向上 ③個店の魅力づくりを原点とした商業の活性化 ④第一牧志公設市場を核としたマチグラーの魅力向上 ⑤老朽化した民間商業施設の改善に合わせた魅力的な商環境の形成 ⑥地域資源を有効に集約・活用するための仕組みづくり <u>⑦快適な商環境及び住環境の形成</u> <u>⑧ウィズコロナ・アフターコロナ及び新たな動きへの対応</u>
3 まちなか居住の推進	①既存住宅ストック活用によるまちなか居住の推進 ②高度利用とオープン空間の創出等による魅力ある都市型住宅地の形成 ③密集住宅市街地改善による集合住宅等の建設促進 ④誰もが子育てしやすい居住環境づくり
4 都市福利施設の整備	①各分野の連携による子育て支援や高齢者の共助、商業活性化の仕組みづくり ②小学校区を単位とした新しいコミュニティ組織づくり ③既存の公共施設を活用した良質な都市福利の提供 ④那覇文化芸術劇場「なは一と」を軸とした地域コミュニティの醸成と賑わいの創出
5 交通環境の整備促進	①歩行者優先ゾーンにおける段階的な自動車交通の抑制 ②歩いて楽しい歩行空間の整備 ③迷惑行為の防止による快適な通りの形成

【p93】

○②新たに取り組む内容の表に次の欄を加える。

項 目	取り組み内容
安全安心なアーケードの整備	老朽化したアーケードの危険性を除去するとともに再整備にかかる補助制度を導入する

【p104】

○②新たに取り組む内容の表のうち次の事項を追加する。

項目	取り組み内容
個店の魅力アップ	コロナ禍の影響を受ける市域事業者が業種転換や新事業への挑戦等、新たな取り組みに対し支援する。

【p104】から【p105】

○②新たに取り組む内容の表に次の欄を加える。

項目	取り組み内容
新たな動きへの対応	新牧志公設市場を活用し、食の魅力の体験機会の創出を図り、地元客(市民・県民)を中心市街地へ呼び戻す(市場を訪れる)機会を増やすため、通り会等の関係団体による取り組みを支援する。

【p105】

○次の表を加える。

③新たに検討する内容

項目	取り組み内容
快適な商環境及び住環境の形成	不適切な飲酒、騒音、不衛生行為等の迷惑行為に関して、関係法令に基づく指導等について対応を検討するとともに、先進都市の事例を参考に、可能な規制の導入について検討する。
新たな動きへの対応	国際通りのポケットパークや道路空間の積極的活用を可能とする制度(ほこみち制度等)の導入を検討するとともに、既に導入している都市再生整備計画に基づく事業を実施しようとする団体等を支援する。
	商店街の活性化のため、人流等のデータに基づく商環境の改善を促進する取り組みを検討するとともに、中心商店街の公共施設・公共空間の活用に向けた取り組みを検討する。
地元客の中心商店街離れへの対応	市民・県民・観光客のバランスの取れた商業の再生について引き続き取り組むとともに、地元客を中心市街地へ呼び戻すための事業を検討する。

【p116】

○②新たに取り組む内容の表に次の欄を加える。

項目	取り組み内容
新たな動きへの対応	那覇文化芸術劇場「なは一と」を含めた公共施設及び民間施設を活用し都市型 MICE の誘致を図る。

○表を次のように改修

那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画の事業進捗状況

※施策については、代表的な施策を記載しています。

No.	分野	分類	事業名又は項目	施策	所管課	事業進捗	掲載頁
1-1	1.市街地の整備改善	①具体的な事業	農運市場地区防災街区整備事業	③	まちなみ整備課	完了予定(R4)	91
1-2			モノレール旭橋駅周辺第一種市街地再開発事業	②	まちなみ整備課	完了	91
1-3			新文化芸術発信拠点施設整備事業	②	文化振興課	完了	91
1-4			牧志一丁目3番地区市街地再開発事業(構想)	③	まちなみ整備課	未着手	92
1-5			歴史散歩道整備事業	②	道路建設課	基本計画終了年度で完了できない	92
1-6			街路整備事業 (公共投資交付金)	④	道路建設課	基本計画終了年度で完了できない	92
1-7			道路新設改良事業 (社会資本交付金)	④	道路建設課	基本計画終了年度で完了できない	92
1-8			都市公園事業	④	花とみどり課	基本計画終了年度で完了できない	92
1-9			緑のカーテン推進事業	④	環境政策課	完了	93
1-10			②新たに取り組む内容	栄町市場地区の再生	②	まちなみ整備課	未着手
1-11		市街地環境の改善		③	まちなみ整備課	計画通り完了予定	93
1-12		通りのビジョンづくり		⑤	なはまち振興課	遅れて完了予定	93
1-13		老朽化した民間商業施設の改善		②	なはまち振興課	基本計画終了年度で完了できない	93
1-14		ガープ川の浸水対策	④	下水道課	未着手	93	
2-1	2 商業の活性化	①具体的な事業	農運市場地区防災街区整備事業		まちなみ整備課	【再掲】1-1(参照)、3-1.4-1	96
2-2			一万人のエイサー踊り隊助成金事業	①	なはまち振興課	計画通り完了予定	96
2-3			国際通りトランジットマイル推進事業	①	なはまち振興課	計画通り完了予定	96
2-4			頑張るマテグワー支援事業	①	なはまち振興課	計画通り完了予定	97
2-5			マテグワーのにぎわい事業	①	なはまち振興課	完了	97
2-6			公共無線LANサービス提供モデル事業	②	観光課	完了	97
2-7			国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	②	なはまち振興課	計画通り完了予定	98
2-8			マテグワー総合案内所事業	②	なはまち振興課	計画通り完了予定	98
2-9			観光案内所運営補助金	②	観光課	計画通り完了予定	98
2-10			那覇龍船振興会補助金	⑥	観光課	計画通り完了予定	99
2-11			那覇大綱挽保存会補助金	⑥	観光課	計画通り完了予定	99
2-12			琉球王朝祭り首里事業補助金	⑥	観光課	計画通り完了予定	99
2-13			首里城祭「琉球王朝絵巻行列」事業補助金	⑥	観光課	計画通り完了予定	99
2-14			プロ野球キャンプ等支援事業	②	観光課	計画通り完了予定	100
2-15			プロ野球キャンプにぎわい創出事業	②	観光課	計画通り完了予定	100
2-16			観光まちづくり整備補助金	⑥	観光課	計画通り完了予定	100
2-17			観光イベント等映像発信事業	②	観光課	計画通り完了予定	101
2-18			外国人観光客受入整備事業	②	観光課	完了	101
2-19			観光案内板多国語充実事業	⑥	観光課	完了	101
2-20			国際会議等支援事業	②	観光課	実施予定なし	101
2-21		外国人観光客誘客促進事業	②	観光課	計画通り完了予定	102	
2-22		第一牧志公設市場再整備推進事業	④	なはまち振興課	完了予定(R4)	102	
2-23		トイレ提供店舗支援事業	②	なはまち振興課	計画通り完了予定	102	
2-24		中心商店街にぎわい広場管理運営事業	①	なはまち振興課	実施予定なし	103	
2-25		公設市場管理運営事業	④	なはまち振興課	計画通り完了予定	103	
2-26		那覇市小口資金融資事業	⑥	商工農水課	計画通り完了予定	103	
2-27	那覇市ぶんかテンパス館管理運営事業	⑥	商工農水課	計画通り完了予定	103		
2-28	那覇市企業立地促進奨励助成金	⑥	商工農水課	計画通り完了予定	104		
2-29	優良屋外広告物の推進事業	⑥	都市計画課	計画通り完了予定	104		
2-30	②新たに取り組む内容	老朽化した民間商業施設の改善		なはまち振興課	【再掲】1-13参照	104	
2-31		通りのビジョンづくり		なはまち振興課	【再掲】1-12参照	104	
2-32		個店の魅力アップ	③	商工農水課 なはまち振興課	計画通り完了予定	104	
2-33		人材育成施設(真和志南地区生き生き人材育成支援施設(仮称))の整備	②	生涯学習課	完了	104	
2-34		多言語表示案内の充実	⑥	観光課	基本計画終了年度で完了できない	104	
2-35		一流拠点団体による公演	⑥	文化振興課	未着手	105	
2-36	「なはでナイト」開発事業	②	観光課	基本計画終了年度で完了できない	105		

3-1	3 まちなか居住の推進	① 具体的事業	農連市場地区防災街区整備事業		まちなみ整備課	【再掲】1-1(参照)、2-1.4-1	107
3-2			農連市場地区市営住宅整備事業	④	市営住宅課	完了	107
3-3			事業所内保育総合推進事業	④	こども政策課	完了	107
3-4			牧志一丁目3番地区市街地再開発事業(構想)		まちなみ整備課	【再掲】1-4参照	107
3-5			那覇市住宅用省エネ設備導入促進助成事業	①	環境政策課	完了	108
3-6		② 新たに取り組む内容	市街地環境の改善		まちなみ整備課	【再掲】1-11参照	108
3-7			共同住宅の容積率緩和	②	建築指導課	計画通り完了予定	108
3-8			居住改善(住宅リフォーム)の促進	①	まちなみ整備課	未着手	108
3-9			市営住宅の整備	④	市営住宅課	実施予定なし	108
3-10			住宅ストック(空室等)活用事業の実施	①	まちなみ整備課	完了	108
3-11			密集住宅市街地改善による集合住宅等の建設促進	③	まちなみ整備課	完了	108
4-1	4 都市福祉施設の整備	① 具体的事業	農連市場地区防災街区整備事業		まちなみ整備課	【再掲】1-1(参照)、2-1.3-1	111
4-2			新文化芸術発信拠点施設整備事業	④	文化振興課	【再掲】1-3参照	111
4-3			バリアフリー改装補助事業	①	福祉政策課	完了	111
4-4			那覇市コンビニAEDステーション設置事業	①	救急課	計画通り完了予定	112
4-5			事業所内保育総合推進事業		こども政策課	【再掲】3-3参照	112
4-6			地域密着型サービスの充実促進事業	②	ちゃーがんじゅう課	完了予定(R4)	112
4-7			高齢者家賃債務保証制度の情報提供事業	③	ちゃーがんじゅう課	計画通り完了予定	113
4-8			有料老人ホーム等の把握及び情報提供事業	②	ちゃーがんじゅう課	遅れて完了予定	113
4-9			うまんちゅ救急ステーション事業	①	救急課	計画通り完了予定	113
4-10			校区まちづくり協議会支援事業	②	まちづくり協働推進課	遅れて完了予定	113
4-11			自主防災組織防災資機材交付事業	①	防災危機管理課	遅れて完了予定	114
4-12			那覇市連絡事務委託及び受託自治会補助事業	③	まちづくり協働推進課	計画通り完了予定	114
4-13			地域ふれあいデイサービス事業	②	ちゃーがんじゅう課	計画通り完了予定	114
4-14			高齢者総合相談事業	③	ちゃーがんじゅう課	遅れて完了予定	115
4-15			地域見守りネットワークづくり事業	③	ちゃーがんじゅう課	計画通り完了予定	115
4-16		都市公園事業		花とみどり課	【再掲】1-8参照	115	
4-17		那覇市ぶんかテンプス館管理運営事業		商工農水課	【再掲】2-27参照	116	
4-18		② 新たに取り組む内容	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	③	公園管理課	完了予定(R4)	116
4-19			子どもと地域の交流拠点づくり	①	こども政策課	計画通り完了予定	116
4-20			自主公演活動の推進	④	文化振興課	計画通り完了予定	116
4-21			認知症対策の強化	②	ちゃーがんじゅう課	計画通り完了予定	116
4-22	久茂地地域児童コミュニティ施設の整備		①	こども政策課	完了	116	
5-1	5 交通環境の整備促進		① 具体的事業	バス停上屋整備事業	①	道路建設課	完了
5-2		国際通りトランジットマイル助成金事業			なはまち振興課	【再掲】2-3参照	119
5-3		交流オアシス整備事業		②	道路建設課	完了	119
5-4		久茂地地区まちづくり推進事業		①	都市計画課	完了	120
5-5		めんそーれ観光充実事業		③	観光課	計画通り完了予定	120
5-6		② 新たに取り組む内容	パークアンドライド駐車場の整備	①	都市計画課 道路建設課 道路管理課	実施予定なし	121
5-7			観光バス乗降場・待機場の整備	③	観光課	完了	121
5-8			新交通システムの導入	①	都市計画課	完了	121
5-9			トランジットモールの拡充	①	都市計画課 なはまち振興課	実施予定なし	121
5-10			公園整備と併せた歩行空間等の創出	②	花とみどり課	遅れて完了予定	121
5-11			快適な歩行者・自転車空間等の創出	②	道路建設課	基本計画終了年度で完了できない	121
5-12			駐車場への円滑な誘導	③	なはまち振興課	実施予定なし	121
修正して追加された事業							
2-33 【修正】	2-33【修正】	人材育成支援センターまーいまいNaha管理運営事業		生涯学習課			
5-8 【修正】	5-8【修正】	新交通システムの導入		都市計画課			

1 市街地の整備改善

- ① 土地利用の複合化の考え方に基づく市街地の整備改善
- ② 歴史的経緯を踏まえながら、安全・安心・快適を実現する基盤整備
- ③ 民間活力を活かした市街地整備の促進
- ④ 市街地整備施策と連携した環境共生の推進
- ⑤ 規制緩和と制度等を有効に活用した市街地の整備

2 商業の活性化

- ① 市民・県民・観光客のバランスのとれた商業の再生
- ② インバウンドの受入体制の整備による、おもてなし力の向上
- ③ 個店の魅力づくりを原点とした商業の活性化
- ④ 第一牧志公設市場を核としたマチグラーの魅力向上
- ⑤ 老朽化した民間商業施設の改善に合わせた魅力的な商環境の形成
- ⑥ 地域資源を有効に集約・活用するための仕組みづくり

3 まちなか居住の推進

- ① 既存住宅ストック活用によるまちなか居住の推進
- ② 高度利用とオープン空間の創出等による魅力ある都市型住宅地の形成
- ③ 密集住宅市街地改善による集合住宅等の建設促進
- ④ 誰もが子育てしやすい居住環境づくり

4 都市福祉施設の整備

- ① 各分野の連携による子育て支援や高齢者の共助、商業活性化の仕組み
- ② 小学校区を単位とした新しいコミュニティ組織づくり
- ③ 既存の公共施設を活用した良質な都市福利の提供
- ④ 新文化芸術発信拠点施設を軸とした地域コミュニティの醸成と賑わいの創

5 交通環境の整備促進

- ① 歩行者優先ゾーンにおける段階的な自動車交通の抑制
- ② 歩いて楽しい歩行空間の整備
- ③ 迷惑行為の防止による快適な通りの形成

【p125】 表を次のようにあらためる。
基本計画中間見直しの策定の体制

■那覇市中心市街地活性化委員会名簿

分野名	氏名	所属
学識経験者	金城 盛彦	琉球大学国際地域創造部 教授
	大谷 健太郎	名桜大学国際学群観光産業学 教授
	比嘉 正茂	沖縄国際大学経済学部 教授
中心商店街の 商業者	石坂 彰啓	那覇市国際通り商店街振興組合連合会事務局長
	栗國 智光	那覇市中心商店街連合会 副会長
	矢野 弘子	那覇市平和通り商店街振興組合 理事
市民	東恩納 寛治	那覇市自治会長会連合会
	小阪 亘	NPO 法人まちなか研究わくわく 代表理事
商工業を支援 する団体の役 員又は職員	新垣 朝雄	那覇商工会議所 中小企業相談部次長
関係行政機関 の職員	大城 敦史	沖縄総合事務局 経済産業部商務通商課 課長
	小渡 悟	沖縄県商工労働部中小企業支援課 課長
その他市長が 認める者	与儀 弘子	那覇市協働によるまちづくり推進協議会会長
	玉村 剛	那覇市観光協会 事務局次長
	仲間 宗三	那覇警察署 地域課 県庁前交番所長

(2) 庁内検討組織

基本計画の中間見直しにあたり、庁内に推進本部、検討委員会、幹事会にて検討し、庁内の横断的な検討を行った。

① 那覇市中心市街地活性化推進本部

区 分	所 属 ・ 役 職
本部長	政策統括調整監
副本部長	経済観光部長
本部員	都市みらい部長、まちなみ共創部長、上下水道部長、企画財務部長、消防局長、経済観光部副部長、都市みらい部副部長、まちなみ共創部副部長、上下水道部副部長、企画財務部副部長、消防局次長

② 那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画検討委員会

区 分	所 属 ・ 役 職
委員長	経済観光部副部長
副委員長	都市みらい部副部長
委員	なはまち振興課長、都市計画課長、建築指導課長、まちなみ整備課長、道路建設課長、道路管理課長、建築工事課長、花とみどり課長、公園管理課長、企画調整課長、防災危機管理課長、商工農水課長、観光課長、まちづくり協働推進課長、文化振興課長、福祉政策課長、ちゃーがんじゅう課長、こども政策課長、環境政策課長、消防局予防課長、教育委員会総務課長、教育委員会生涯学習課長、上下水道局下水道課長

③ 那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画検討委員会 幹事会

区 分	所 属
幹事長	なはまち振興課長
副幹事長	都市計画課長が指名する者
幹事	なはまち振興課、都市計画課、建築指導課、まちなみ整備課、道路建設課、道路管理課、建築工事課、花とみどり課、公園管理課、企画調整課、防災危機管理課、商工農水課、観光課、まちづくり協働推進課、文化振興課、福祉政策課、ちゃーがんじゅう課、こども政策課、環境政策課、消防局予防課、教育委員会総務課、教育委員会生涯学習課、上下水道局下水道課、の長が指名する者

那覇市中心市街地の活性化に 関する基本計画中間見直し

令和5年3月

那覇市 経済観光部 なはまち振興課

〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号

【電話】098-867-5260 【FAX】098-863-1752
